30th Anniversary

くにもとメディカルグループ 30 周年記念誌

【併載】グループ概要 2022

医療法人健康会　　理事長
医療法人社団元気会　理事長
医療法人社団曙　　理事長
株式会社健康会　　代表取締役

國本　正雄

くにもとメディカルグループは、1991年の「くにもと肛門科」開設から、昨年9月17日に、創立30周年の節目を迎えることができました。私共を支えて下さっている皆さまに心から感謝申し上げます。19床の有床診療所からスタートし、現在では東京・札幌・旭川・江別・苫小牧・室蘭にて全道及び首都圏へ事業拡大し、医療機関・介護施設の病床数・居室数は合わせて1,000床を超え、職員数は1,300名以上となりました。

くにもと病院は2021年5月1日に丸谷病院と統合移転し、30周年を迎える年に141床の病院としてリニューアルオープンすることができました。くにもと病院がこれまで取組んできた大腸肛門病の専門病院としての診療に加え、地域高齢者等の回復期・在宅復帰の支援強化を充実させ、地域医療のハブとなる病院を目指して参ります。

医療・看護・介護を取り巻く社会情勢が年々厳しくなり、そして新型コロナウイルスの全世界的な拡大という危機に直面する中でも歩みを止めずに無事30周年を迎えることができたのは、当グループを支えて下さっている皆様の多大なるご支援によるものだと感謝致しております。

くにもとメディカルグループの30年に渡る活動内容をまとめ、記念誌として編纂、発行致しました。皆様にはくにもとメディカルグループをさらにご理解頂きますとともに、これからも今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年5月

くにもとメディカルグループのあゆみ

1991年 平成3年	くにもと肛門科　開業（19床有床診療所）
1992年 平成4年	旭川青年会議所　入会
1994年 平成6年	旭川青年会議所・日本青年会議所医療部会：骨髄バンク推進への取り組み
1995年 平成7年	肛門科訪問看護　開始 勤労女性509人に対し便秘と生活習慣アンケート　実施 民間医療機関全国初のホームページ開設・インターネット医療相談 学校のトイレ問題
1996年 平成8年	でるでる大作戦（便秘撲滅）　開始 勤労女性の便通と生活習慣との関連についての英語論文発表 北海道新聞「痔ものがたり」連載 医療法人健康会　設立 全国初の医療メール新聞「日刊医療福祉新聞」創刊

くにもとクリニックに改称
　内科・眼科・リハビリテーション科を増科

1997年
平成9年

訪問診療開始（肛門科・眼科・内科・整形外科）
札幌医科大学第一外科より非常勤医師派遣開始

管理栄養士による訪問栄養指導開始
医療相談員（MSW）を院内に配置

國本初の著書「痔主にならない読本」執筆

あけぼの訪問看護ステーション　開設
デイケアセンターあけぼの　開設
（現在は閉鎖）

おおあさクリニック　開設
デイケアセンターおおあさ　開設

1998年
平成10年

在宅介護支援センターあけぼの　開設
（現在は閉鎖）
忠和クリニック　開設

1999年
平成11年

増築工事開始

旭川医科大学第一外科より非常勤医師派遣開始

2000年
平成12年

くにもと病院　開設

訪問看護ステーションおおあさ　開設
株式会社健康会　設立
ホームヘルパー養成講座（旭川・江別）　開始
ケアプラン相談センターあけぼの　開設
ケアプラン相談センターおおあさ　開設
ヘルパーステーションあけぼの　開設
ヘルパーステーションおおあさ　開設
ヘルパーステーションしらかば　開設

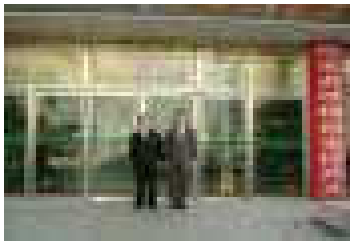
2001年
平成13年

訪問看護ステーションしらかば　開設

2002年
平成14年

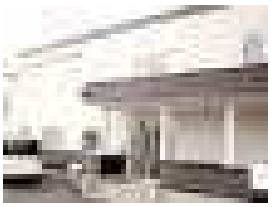
ケアプラン相談センターしらかば　開設
妹背牛診療所　運営受託
（現在は受託していない）

コスモス学芸大前クリニック
　東京都目黒区　開設（現在は閉院）

亜急性期病床（10床）　運用開始	2004年 平成16年
ALTAによる内痔核硬化療法　導入 全国初の便失禁専門外来　開設	2005年 平成17年
北京長青肛腸医院（中国・北京市）消痔霊による手術見学・訪問 日本医療機能評価機構　病院機能評価（Ver. 5 ）認定 旭川医科大学第二外科より非常勤医師派遣開始	2006年 平成18年
	2007年 平成19年
DPC対象病院　指定 画像診断支援システム（PACS）導入	2008年 平成20年
くにもと病院開設10周年・株式会社健康会創立10周年記念式典　開催 内視鏡検査システム入替（オリンパス EVIS LUCERA SPECTRUM NBI）	2009年 平成21年
道内初の排便障害専門外来　開設 20周年記念講演会　開催	2011年 平成23年
形成外科・美容外科　開設（現在は閉鎖）	2012年 平成24年

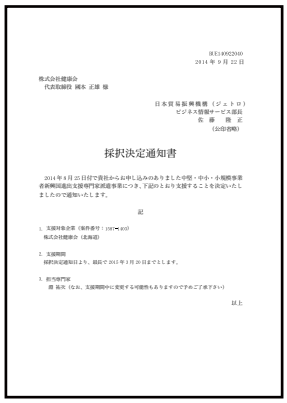
2004年 平成16年	医療法人社団里内科医院　当グループに編入（現在は閉院） 旭川神経内科クリニック　開設（現在はグループ外） グループホームあけぼの　開設 グループホームあけぼのII　開設
2005年 平成17年	グループホームしらかば　開設 デイサービスセンター東野幌　開設 デイサービスセンターしらかば　開設 （現在は閉鎖） グループホームあけぼのIII　開設
2006年 平成18年	グループホームあけぼのIV　開設 グループホームえべつ　開設 デイサービスセンターちゅうわ　開設 療養通所介護センターしらかば　開設
2007年 平成19年	大麻第一地域包括支援センター　受託
2009年 平成21年	春光・春光台地域包括支援センター　受託
2010年 平成22年	小規模多機能ホームちゅうわ　開設 （現在は閉鎖） メディケアホームちゅうわ　開設 グループホーム若葉　開設 メディケアホームあけぼの　開設
2011年 平成23年	メディケアホームちゅうわII　開設 グループホーム柏木　開設 メディケアホームあけぼのII　開設 メディケアホーム新道東　開設 せつこ内科クリニック　開設 （現在は閉院）

看護部バナナ教室　開始 日本医療機能評価機構　病院機能評価（ver.6.0）認定	2012年 平成24年
メディケアホーム川下Ⅰ　開設 メディケアホーム川下Ⅱ　開設 健康会ヘルパーステーション札幌東　開設 健康会ケアプラン相談センター札幌東　開設 メディケアホーム丘珠　開設 メディケアホームあけぼのⅢ　開設	
メディケアホーム栄町　開設 メディケアホーム川下Ⅲ　開設 メディケアホーム曙2条5丁目　開設	2013年 平成25年
＜社会貢献活動＞ カンボジアに小学校を寄付	2014年 平成26年
＜海外事業＞ JETRO「専門家による新興国進出個別支援サービス」採択 メディケアホーム忠和6条　開設 グループホームひじり野　開設 グループホーム輪西　開設 医療法人社団　曙　設立 札幌北14条クリニック　開設 株式会社　健　設立 健　鍼灸院　開設 ケアプラン相談センター旭町　開設 デイサービスセンター大町2条　開設 （現在は閉鎖） 訪問看護ステーションしらかば東営業所　開設 メディケアホーム美園　開設	



2015年
平成27年

＜海外事業＞
北海道知事、副知事、北海道庁経済部国際経済室往訪
JETRO「海外展開のための専門家活用助成事業」採択
タイ現地法人　KENKOKAI（THAILAND）CO., LTD.
（現在は清算済）



日貿振第 [illegible] 号
2014 年 9 月 22 日

株式会社健康会
代表取締役 國本 正雄 様

日本貿易振興機構（ジェトロ）
ビジネス投資サービス部長
佐 藤 剛 正
（公印省略）

採択決定通知書

2014 年 8 月 25 日付で貴社からお申し込みのありました中堅・中小・小規模事業者海外展開進出支援専門家派遣事業につき、下記のとおり支援することを決定いたしましたので通知いたします。

記

1. 支援対象企業（事務番号：[illegible]）
株式会社健康会（北海道）

2. 支援期間
採択決定通知日より、最長で 2015 年 3 月 20 日までとします。

3. 担当専門家
[illegible] 氏（なお、支援期間中に変更する可能性もありますのでご了承下さい）

以上

JETRO採択決定通知書

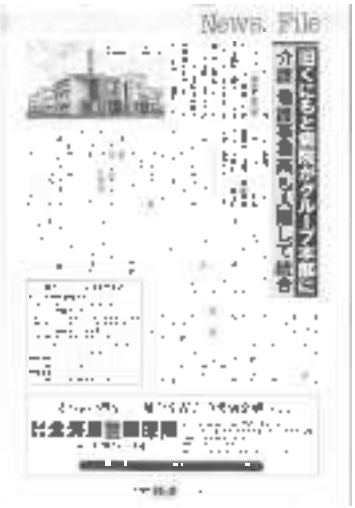
健康会訪問看護ステーション札幌東　開設
メディケアホーム元町北26条　開設
ケアサポートセンターあけぼの　開設
訪問看護ステーション忠和　開設
メディケアホーム元町中央　開設
メディケアホーム川下Ⅳ　開設
デイサービスセンター押上　開設
ケアハウス押上　開設
株式会社ひだまり　設立（現在は事業譲渡済）
ひだまり深川（訪問介護・居宅）　開設（現在は事業譲渡済）
ひだまり臨海（訪問介護・居宅）　開設（現在は事業譲渡済）

2016年
平成28年

介護福祉士実務者研修センターあけぼの　開設
メディケアホーム厚別中央　開設
グループホーム厚別中央　開設
メディケアホーム元町開成　開設
メディケアホーム伏古　開設
Hair salon area-J　開店（バンコク）
（現在は閉鎖済）

メディケアコート町田根岸　事業承継
ヘルパーステーション町田根岸　事業承継
デイサービスセンター町田根岸　事業承継
ケアプラン相談センター町田根岸　事業承継
（上記町田4事業所については現在譲渡済）

グループホーム伏古　開設 ケアハウス堀船　開設 ケアハウス小竹向原　開設 一般社団法人健康育援会　開設 （現在は清算済） 	2017年 平成29年
児童発達支援・放課後等デイサービスみかほ　開設 （現在は閉鎖） グループホーム八軒中央　開設 メディケアホーム元町北20条　開設 	2018年 平成30年 2019年 平成31年
ケアハウス大田蒲田　開設 グループホーム大田蒲田　開設 メディケアホーム環状通東　開設 介護施設入居相談所 健　開設 	2019年 令和元年
苫小牧支社　移転 ヘルパーステーションしらかば　移転 ケアプラン相談センターしらかば　移転 訪問看護ステーションしらかば　移転 グループホームえべつ　移転 グループホーム澄川　開設 グループホーム新道東　開設 ドクター・ナーシングホーム元町　開設 （メディケアホーム元町北20条をリニューアル） ケアハウス練馬豊玉南　開設 医療法人丸谷会から事業譲渡を受け、 丸谷病院を医療法人健康会に編入	2020年 令和2年

2021年 令和3年	くにもと病院が丸谷病院を統合し141床の病院として リニューアルオープン 電子カルテシステム稼働開始 新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施 旧くにもと病院建物を國本ビルとして稼働開始 國本ビル入居事業所 ・管理本部 ・あけぼの訪問看護ステーション ・ケアプラン相談センターあけぼの ・ヘルパーステーションあけぼの ・健鍼灸院 ・訪問理美容スマイルarea  News File 旧くにもと病院がグループ本部に 介護・看護事業所入居して統合
2022年 令和4年	札幌本社移転 （新住所：北海道札幌市中央区北5条西6-2-2 札幌センタービル3階） 札幌センタービル 事業拡大に合わせ本社移転 札幌エリアの事業開発機能も くにもとスマイルカルグループ（健康会）

介護老人保健施設おおぞら　事業承継
指定居宅介護支援事業所おおぞら　事業承継
（ケアプラン相談センター健康会に名称変更しケアプラン相談センター札幌東と統合）

旭川市の除排雪事業へ寄付を実施
今津旭川市長より感謝状受領

介護付有料老人ホームカルナシア栄町　開設

有老・GH、開設を加速
グループ運営床数増超へ

訪問理美容スマイルarea　開設

訪問理美容サービスに本格参入

日本一の肛門科を目指して

くにもと肛門科開業

当院は 1991 年（平成 3 年）9 月 17 日、旭川市において 19 床の有床診療所「くにもと肛門科」として開業しました。

目標は大きく、「日本一の肛門科になる」こと。
開業前に勤務していた札幌いしやま病院で学んだ経験や技術を基に、患者様に「安心・満足・納得」していただく医療を提供することを理念としました。
開業にあたり、日本全国の主な肛門科専門医療機関を見学し、患者様に快適な設備やサービスを新たに用意。明るく開放的な院内の雰囲気の中、様々なイベントを多数企画し、家庭的でストレスのない療養生活を楽しんでいただけるよう工夫を重ねました。

肛門科の専門医療機関として、開業当初から旭川市のみならず道北・道東を診療圏と位置付けて、医師 1 名ながら外来・検査・手術を精力的に行ってきました。

全人的医療を目指して

肛門疾患は、有史以来人類が抱える悩みのひとつであり、日本人の 3 人に 1 人が患っている国民病とまで言われていますが、羞恥心から医療機関を受診しにくい疾患です。
肛門科をより身近なものにするため、数多くの取組を企画立案し、その中で肛門疾患の原因のひとつである便秘の撲滅を目的とした「でるでる（便秘撲滅）大作戦」を開始しました。この取組は、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど様々なメディアに多数取り扱われました。
また、旭川青年会議所の活動など街づくりにも積極的に参加しました。患者様の身体面だけではなく心理・社会面を含めて、人間を総合的に診ていこうとする全人的医療を目指しました。

次第に患者は増加し、年間 3000 名の新患が訪れるようになりました。年間 1000 例を超える肛門手術、3000 例の内視鏡検査を施行。19 床のベッドはすぐに埋まり、入院は 3 ヶ月待ちとなりました。
その後、札幌医科大学第一外科・旭川医科大学第一外科より常勤外科医の派遣をいただけるようになり、より質の高い診療体制を構築することができました。

肛門科訪問看護のスタート

在宅医療のニーズが高まりつつあるなか、当院における在宅医療の第一歩として、大友幸恵看護部長（当時）が中心となり、便通異常を有する通院困難な高齢者を対象とした肛門科の訪問看護を 1995 年から開始しました。

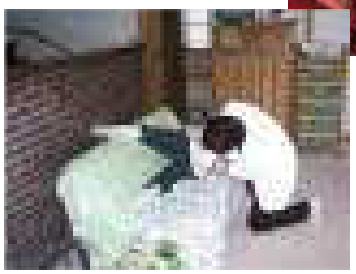
お年寄り対象
「お尻のケア」
訪問看護始める
旭川の病院

北海道新聞　1995

訪問診療のスタート

訪問看護を続けている中で、在宅で便秘や肛門疾患に悩む患者様が非常に多いことがわかりました。医療機関を受診することができない方のために、1996 年から肛門科の訪問診療を開始しました。

その中で地域の高齢者に対して、肛門疾患だけでなく全身管理の必要性を感じるようになり、内科・整形外科の訪問診療と、旭川医科大学の協力を得て眼科の訪問診療をスタートさせました。



在宅医療への取組

1997 年に常勤の内科医師着任とともに、くにもと肛門科から、くにもとクリニックへと名称を変更。肛門疾患はもちろん、地域の高齢者に対する在宅医療にも力を入れるため、訪問看護ステーション・デイケア・ヘルパーステーションを立ち上げました。

病院へ

2000 年、61 床の急性期病床を持つ「くにもと病院」へと組織を改め、増床により肛門科の入院待ちも緩和されるようになりました。また、多くの常勤医師に着任いただき、より充実した医療を提供することができるようになりました。

地域の高齢者を受け入れることができる内科病床や、大腸がんなどに対する化学療法を行う体制を整備し、地域医療機関との密接な連携を図り、充実した医療を提供しています。

旭川における介護関連施設・介護サービスに対する医療面でのバックアップを担い、患者様・利用者様やそのご家族に安心してご利用いただける体制を構築しました。

141 床の病院としてリニューアルオープン

くにもと病院は 2021 年 5 月 1 日に丸谷病院を
統合し 141 床の病院としてリニューアルオープンしました。
これまでの肛門外科・胃腸内科など急性期としての
強みに加え、地域高齢者等の回復期・在宅復帰を支援し、
地域医療のハブとなる病院を目指します。

排便障害に対する取り組み

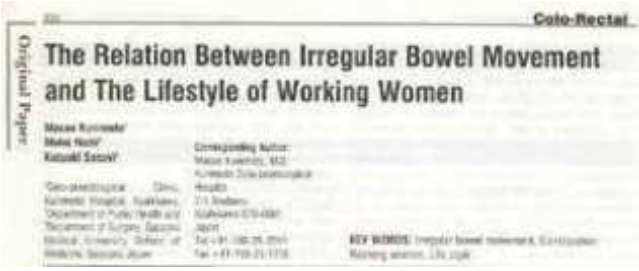
特に若い女性の悩みの一つといわれている「便秘」。
便秘自体が不快な症状であり、肛門疾患の大きな原因となります。肛門疾患の治療をする中で排便障害のコントロールが重要な役割を占めています。
これまで便秘と生活習慣の関連を調査した文献は非常にめずらしく、当院ではまずはじめに便秘に関する実態調査を行いました。

勤労女性の排便習慣を調査

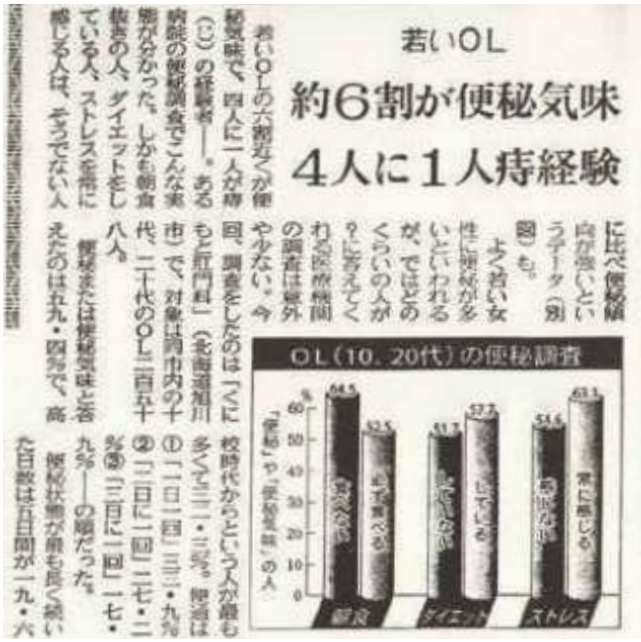
1995 年に勤労女性の便通と生活習慣や食生活、ダイエット、ストレスなどとの関連を明らかにすることを目的にアンケート調査を実施しました。旭川市内の 10 代から 60 代までの 509 人から協力を得ることができました。
「便秘」または「便秘気味」と答えた勤労女性は 53.8％にものぼり、勤労女性の約半数は便秘傾向にあることがわかりました。食生活においては、食物繊維に対する知識があると答えた人は 89.9％と高いものの、反面摂取量は十分ではないと考える人が 73.4％もあり、問題があると自覚しつつも実行が伴っていない現実が浮き彫りとなりました。さらに便秘で医療機関を受診したことがある人はわずか 2.7％と非常に少なく、医療機関での治療・指導だけでは限界があることがわかりました。

各世代での便秘と生活習慣について調査

勤労女性に対する便秘と生活習慣における実態調査を踏まえ、幼稚園児から高齢者までの各世代において、便秘と生活習慣・トイレに関するアンケート調査を実施し、それぞれを論文としてまとめました。
若年層ではトイレの形（和式・洋式）やライフスタイルの変化が原因として挙げられ、高齢者ではトイレへの移動が問題となる場合があるなど、各世代において快適な排便を妨げる要因が浮き彫りとなりました。
生活習慣の改善だけでなく、身体的・心理的な問題に加え、設備などの問題も背景にあることがわかり、それらの改善も必要であると報告しています。


Colo-Rectal
Original Paper
The Relation Between Irregular Bowel Movement and The Lifestyle of Working Women

Kunimoto M.，Nishi M.，Sasaki K.：
The Relation Between Illegular Bowel Movement and The Lifestyle of Working Women
Hepatogastroenterology：Vol.45 No.22 p.956-960, 1998


若いOL
約6割が便秘気味
4人に1人痔経験
OL（10、20代）の便秘調査

東京新聞　1995

便秘と排便習慣などに関する論文

小学生の便通とトイレに関する意識調査
　日本医事新報, 1996
高齢者および在宅療養者の便秘
　JIM（総合医療誌ジム）, 1998
便秘を自覚する若年女性に対する食物繊維の効果
　臨牀と研究, 1998
The Relation Between Illegular Bowel Movement and The Lifestyle of Working Women
　Hepatogastroenterology, 1998
中学生の便通と学校トイレに関する意識調査
　小児保健研究, 1999
中学・高校女子の便通と食生活に関する調査
　臨牀と研究, 1999
高齢患者の便秘改善のポイントはライフスタイルの把握
　看護実践の科学, 1999
女子高校生の便秘に関与する因子
　小児保健研究, 2002

学校のトイレ問題への取り組み

子どもたちのライフスタイルが急速に変化しているなか、不規則な生活リズムは、便秘だけでなく健康と成長に悪影響を及ぼします。

小学生の便通と生活習慣に関する論文が日本トイレ協会の目に留まり、平成 9 年の「第 1 回学校トイレフォーラム」で講演させていただき、それが縁で北海道トイレ協会を設立。翌年には「第 14 回全国トイレシンポジウム」を旭川市で開催しました。トイレに関する講演会も積極的に行ってきました。

その後、小学生の便通と生活習慣に関する論文は衆議院の予算委員会でも取り上げられ、文部科学省による学校トイレ改修に対しての予算を獲得するまでに至りました。

NHK　おはよう日本　1996
「便秘に悩む小学生が増えている」

小学生、排便を我慢

学校のトイレ イヤ！

「汚い」「恥ずかしい」…

人間の大切な行為
まず認識の教育を

日本経済新聞　1996

小学校でのトイレに関する出前講座

1996年 日本医事新報

1998年3月20日
第142回国会
衆議院予算委員会

全国初の便失禁専門外来

便失禁とは、排ガスや排便を十分にコントロールできない状態のことです。そのコントロールできない程度としては、ガスが少しもれるものから、大変重症な軟便や固形便が漏れてしまうものまで実に様々です。

当院では 2005 年 3 月に全国で初めてとなる便失禁専門外来を開設しました。

北海道新聞　2005

全道初の排便障害専門外来

従来から便秘の治療は行っていましたが、便秘で当院を受診される方の中には通常の下剤が効かない重症型の方が少なくありません。

当院では 2011 年 8 月より、便秘専門外来である「排便障害外来」を開設いたしました。スーパー便秘をはじめとする様々な便秘に対して、体系的に診断・治療が行える施設は全国でも数えるほどです。

安部達也　診療部長

くにもと病院統合移転に伴い便排出障害の治療がパワーアップ

- ✓スーパー便秘の診断には専門的検査（肛門内圧検査、バルーン排出検査、排便造影検査）が必要です。一般の病院ではほとんど行われておりませんが、当院では実施可能。
- ✓治療の第一選択はバイオフィードバック療法（排便リハビリ）。一般の病院ではあまり行われておりませんが当院では実施可能。
- ✓内科的治療が無効な場合は、特殊な手術が必要な場合もあり。高齢の患者も安心して治療可能な低侵襲で安全な方法を提供。
- ✓便秘や便失禁の専門外来の診療枠を拡大
- ✓専門外来のための広々とした診察室を新設
- ✓排便造影検査装置を最新機種にアップデート
- ✓排便機能検査とバイオフィードバック療法のための専用検査室を新設
- ✓病床数が増えたため、ご希望の方には入院でゆったりと排便訓練に励んで頂けるようになりました。

最新鋭の排便造影装置

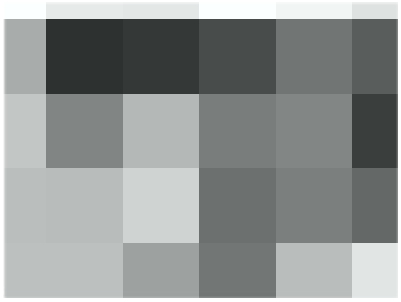
NEWS SPECIAL

新生「くにもと病院」が本格始動

最新医療で大腸・肛門機能充実

2021年5月メディアあさひかわ

肛門病疾患治療への取り組み



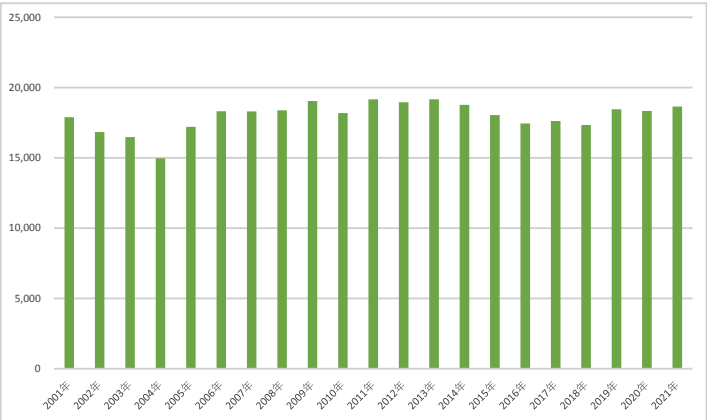
開業以来、肛門疾患専門医療機関として患者様に満足していただくために、医学の進歩とともに常に最新の情報･治療技術を取り入れてきました。
痔の三大疾患と言われる痔核・痔瘻・裂肛のはもちろん、様々な肛門疾患に対して、適切な治療を提供しています。

おしりを見せなければいけないという羞恥心と、かつて「痔の手術は痛い」といわれていた時代の先入観からか、肛門科への受診はためらわれているのが現状です。肛門疾患は良性疾患であるものの、患者様の QOL を著しく低下させる不快な症状が多く、これらを取り除くために、より低侵襲で再発の少ない手術手技の研究や、入院期間の短縮が求められ、その実践に努めています。

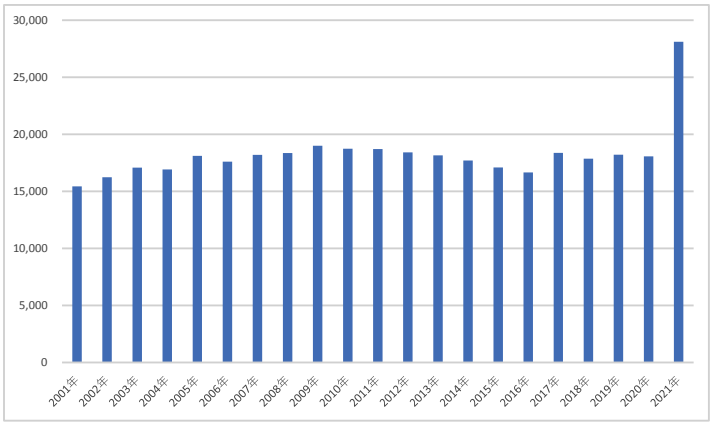
当院では、日本大腸肛門病学会をはじめとした各種学会において、肛門疾患治療に関する発表を積極的に行っており、医師だけでなく看護師や臨床検査技師などコメディカルによる発表も数多く行われています。
また、当院は日本大腸肛門病学会の認定施設の指定を受けており、これまでに当院で多くの医師に対して、肛門疾患の診断・治療・手術などについて指導しています。

大学おいて肛門疾患は学ぶことの少ない分野です。國本理事長は旭川医科大学の臨床指導教授として講義をすることにより、次世代への指導・啓蒙を行っています。

外来患者数



入院患者数



北海道の病院 2022 ランキング

痔核（イボ痔）根治術症例数 上位19

（ ）内の数字は前年実績

順位	医療機関名	所在地	痔核根治術	痔瘻手術
1	札幌いしやま病院	中央区	2111（1869）	1056
2	札幌駅前樽見おしりとおなかのクリニック	中央区	822（803）	283
3	くにもと病院	旭川市	523（762）	260
4	肛門科なかやま病院	厚別区	352（277）	114
5	胃腸内科・肛門外科山岡医院	豊平区	250（237）	45
6	三浦外科肛門科医院	小樽市	207（－）	5
7	いのちの木クリニック	帯広市	203（－）	23
8	札幌フィメールクリニック	東区	168（133）	25
9	旭川消化器肛門クリニック	旭川市	155（188）	50
10	関西病院	帯広市	86（91）	34

痔核（イボ痔）根治術症例数 上位19

（ ）内の数字は前年実績

順位	医療機関名	所在地	痔核根治術	痔瘻手術
1	札幌いしやま病院	中央区	2111（1869）	1056
2	札幌駅前樽見おしりとおなかのクリニック	中央区	822（803）	283
3	くにもと病院	旭川市	523（762）	260
4	肛門科なかやま病院	厚別区	352（277）	114
5	胃腸内科・肛門外科山岡医院	豊平区	250（237）	45
6	三浦外科肛門科医院	小樽市	207（－）	5
7	いのちの木クリニック	帯広市	203（－）	23
8	札幌フィメールクリニック	東区	168（133）	25
9	旭川消化器肛門クリニック	旭川市	155（188）	50
10	関西病院	帯広市	86（91）	34

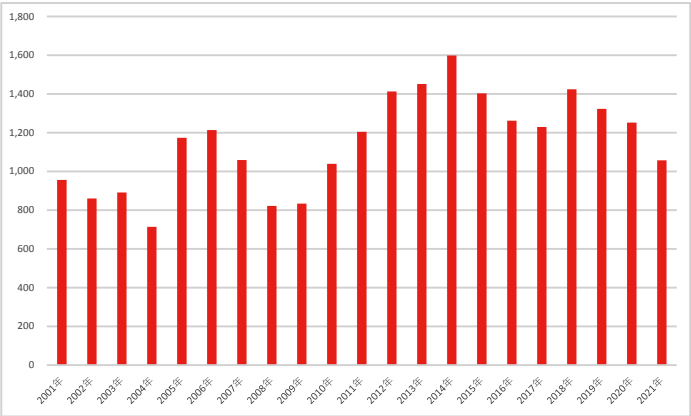
全国トップクラスを誇る ALTA 治療実績

2005 年に、内痔核を切らずに治す画期的で低侵襲な治療薬 ALTA（ジオン注）をいち早く導入しています。
当院では現在までに 3000 例を超える症例に対して実施しています。

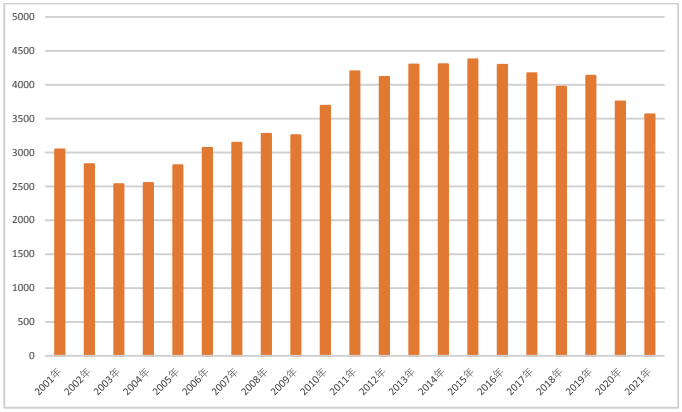
ALTA を用いた内痔核硬化療法とは、四段階注射法という独特な手法を用いて直接痔核に薬液を注入し、非観血的に病変組織を硬化・退縮させることで、内痔核の脱出と出血を消失させる手術です。

北海道新聞　2005

手術件数



内視鏡検査件数



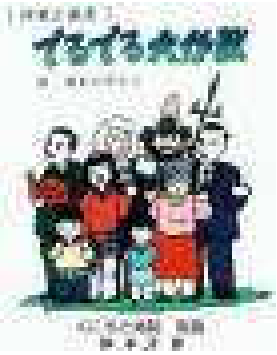
でるでる（便秘撲滅）大作戦 ... 1996年開始

独自の視点で便秘改善に挑戦

大腸肛門病の専門医としての立場から、肛門疾患に対する治療だけでなく、肛門疾患の原因のひとつである便秘を改善することで肛門疾患を予防する取り組みを開始しました。

生活指導や食事指導にはじまり、食物繊維が豊富な食品の開発、音楽やアロマテラピーなどの五感療法、気や心の持ち方などといった精神療法、さわやか体操の制作など、私たちを取り巻く生活環境を含めた予防・啓蒙活動に取り組むと同時に、様々な媒体での情報提供を行ってきました。

これら便秘解消のための取り組みを、「でるでる（便秘撲滅）大作戦」と名付け、様々な角度からの便秘解消・予防を実践しました。



でるでる大作戦 企画書

でるでるビデオ
自主制作ビデオ。気と心の力で便秘を解消する健康ビデオ。

アロマセラピー
香りで排便を促します。
ストレス解消に効果抜群です。

院内健康教室
看護師による便通指導は、食生活や生活習慣を見直すよい機会となりました。

さわやか体操
北海道教育大学古川善夫教授の協力で考案された、おなかに優しい体操。

快便CD
すいすいセレナーデ
全国テレビなどでも取り上げられ、大ブームを巻き起こしました。

でるでるラーメン
旭川といえばラーメン。
製麺大手須藤製麺と共同開発しました。

でるでるパン
食物繊維をふんだんに使用した食パンです。
一力屋と共同開発。

でるでる餅
一久大福堂との共同開発商品。

でるでるボディジェル
香りと肌に触れる触感で効果的な排便を促します。

笑って快便精神療法
まずは自分が笑う練習から始めました。

健康ラジオ番組（STV）
日本初の肛門科専門コーナーにレギュラー出演しました。

でるでるの里構想

大雪山麓を人々の健康を取り戻す地にしようと、医療・自然・農場・牧場・木工製品などを融合させた「でるでるの里」づくりに参画しました。自然に浸れる空間の創出を目指して行われた取組です。

旭川市とともに

旭川市及び圏域の豊かな自然や医療機能を活用し、住民の健康づくりをはじめ滞在型保養地の形成や、安全な食料の生産など関連産業の振興等を目指す取組に参画しました。

全国民間医療機関初のホームページ開設

全国に先駆けて、1995 年、民間医療機関初のホームページを開設。

肛門科専門医療機関ならではの充実した内容を掲載し、肛門疾患や便秘についての治療や予防方法、便秘に関するアンケート結果など、広く一般市民に対してインターネットを利用した医療情報の提供を行いました。

全国初の医療電子メール新聞を発行

全国初の医療・福祉分野を取り扱う有料メール新聞を 1996 年、関連会社より発行。

電子メールという媒体を利用し、医療・福祉情報を積極的に公開し、医療提供者と読者の間で電子メールを利用したタイムリーな情報交換を行うことによって「身近で開かれた医療」の実現を目指したニュースを 400 号以上に渡り発行しました。

インターネット使い
医療電子メール新聞
きょう発刊、当面は無料

日本経済新聞　1996

新聞紙上でのコラム連載

全国の新聞でコラムを連載。なかなか話題になりにくいおしりの話を、面白く、読んでためになる内容で執筆しました。

痔ものがたり	北海道新聞	1995
気になる病気　便秘・痔疾患編	共同通信社全国配信	1996
でるでる博士のうんちの話	北海道経済	1996
おなかと健康　雲古の話	毎日新聞	1997
肛門漫遊記	道新スポーツ	1997
在宅医療の時代	北海タイムス	1997
女性と便秘	聖教新聞	1998
痔と便秘　肛門科の診察室	ライナーネットワーク	1999

北海道新聞　1995

共同通信社全国配信　1996

道新スポーツ　1997

Dr. デルとして雑誌・新聞記事にも多数登場

便秘解消の専門家として、女性誌や新聞など様々な媒体で便秘解消に対する情報提供を積極的に行いました。

BE-PAL　1996

日本経済新聞　1996

テレビ出演

でるでる大作戦が全国で知られるようになってから、多くのテレビ出演依頼が寄せられました。

様々な取り組みにより、北海道に面白い肛門科があると注目を集め、テレビを通じてより多くの人に排便習慣の大切さを伝えることができました。

1996　日本テレビ
「輝け！噂のテンベストSHOW」女性の悩み解消法対決

2002　NHK教育
「金曜アクセスライン」

2002　テレビ東京
「おはスタ！」

1996　NHK
「ためしてガッテン」実習！おなかの健康体操

人（ひと）

国本正雄氏

旭川・くにもと病院長

患者にとって、痔の診察には気恥ずかしさがつきまとうもの。誰にも相談できずに症状を悪化させてしまうこともある。

肛門疾患にまつわるそんな負のイメージを吹き飛ばすべく奮闘しているのが国本さん。自ら「でるでる博士」と名乗り、平成七年頃から「でるでる（便秘撲滅）大作戦」を展開中。まずは便秘にならないことが大事と、生活習慣の改善を唱えてきた。

「開業したとき、日本一の肛門科医になろうと目指したのですが、手術に自信があってもそれを評価する客観的な指標がありません。それで便秘を防げば痔にならないのだから、これこそ日本一だと思ったんです」。

これまで手がけてきた活動はまさに超人的。地元メーカーと連携して便秘になりにくい食品（ラーメン、パン、饅頭など）を開発したかと思うと、便秘解消のためのCD、ビデオ、ボディジェルなどの制作を手がけ、旭川に「でるでるの里構想」を打ち出した。メディアにも意識的に登場し「お尻のことは恥ずかしくない」と説き続けている。

便秘はごくありふれた症状でありながら、それまで大規模な調査はほとんどなかった。そこで、便通に関するさまざまなアンケート調査を実施し、多くの論文にまとめた。

特に小学生については、学校で排便したがらない理由とトイレ環境との相互関係に注目し、その論文を本誌に寄稿。これは国会でも取り上げられ、遂に文部科学省はトイレ改修の予算を計上。国本さんは「日本の学校のトイレを変えた男」とも呼ばれている。

同じ小学生でこれだけの身長差。講演では、わが子と並んだ写真スライドでトイレ改善を訴えた。

さらに、国本さんと言えば、インターネットを先駆的に医療に取り入れたことでも有名。診療所のホームページを開設したのは平成七年七月。おそらく民間医療機関では第一号だ。

「実は、私自身はいまだにコンピュータが使えないんです。たまたまインターネットを知って、これは情報ツールとして使える！と思ったのが始まりです」。

職員らの支えでホームページを立ち上げたものの、当時は医療機関の広告が厳しく規制されていた時代。このため咎められるのではないかと、内心冷や冷やだったという。しかし、国本さんの直感が正しかったことは、その後の展開が示す通りである。

三十七歳の時、それまで縁もゆかりもなかった旭川の地で開業。しかし、地元青年会議所に所属するや、持ち前の明るさでたちまち人脈を広げ、骨髄バンク事業や街づくり運動でも中心的な役割を果たしてきた。

今や患者は道内全域から訪れる。しかし国本さんは最近、マスコミに登場することを控えつつ、「地域に根ざした医療」に一層の意を注ぐようになった。

「私がテレビに出るより、医療機関を地につけて安定させることの方が、職員や社会にとっても大事なことだと気がついたんです」。

三年前に診療所を六一床の病院にした。肛門科を核としつつ、急性期対応の医療を目指す。一方で、在宅に特化した診療所などで慢性期の医療もカバーする。

母校・札幌医大との連携に加え、北大からも「臨床研修施設として協力してほしい」との呼びかけがあり、国本さんの活躍は「第二幕」に入った気配である。

昭和29年室蘭市生まれ。56年札幌医大卒、61年同大院修了（第一外科）。平成3年に旭川市でくにもと肛門科を開設。12年に医療法人健康会くにもと病院理事長・院長。旭川医大臨床指導助教授。「痔主にならない読本」（北海道新聞社刊）など著書多数。

まちづくり・社会貢献

旭川青年会議所活動

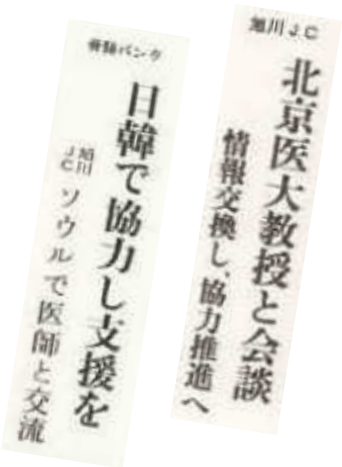
旭川での開業後、仲間も少なかったこと、医療以外でも何か旭川に貢献できることはないかとの思いから 1992 年、旭川青年会議所に 1992 年に入会しました。

骨髄バンク運動

1994 年、開業から 2 年が経ち診療所の運営も落ち着いてきた頃、日本青年会議所医療部会の藤井康弘会長から骨髄バンクフォーラムの企画運営についてのお誘いを受けました。

旭川で 1000 人を集めた「骨髄バンク市民フォーラム」を開催、企業に対してドナー休暇制度の導入を働きかけるなど、骨髄バンク運動推進のため積極的な活動を行いました。

この運動は国内に留まらず、韓国・中国へも渡り、各国間における骨髄バンク交流の橋渡しを担いました。



北海道新聞　1995

北海道新聞

朝日新聞　1996

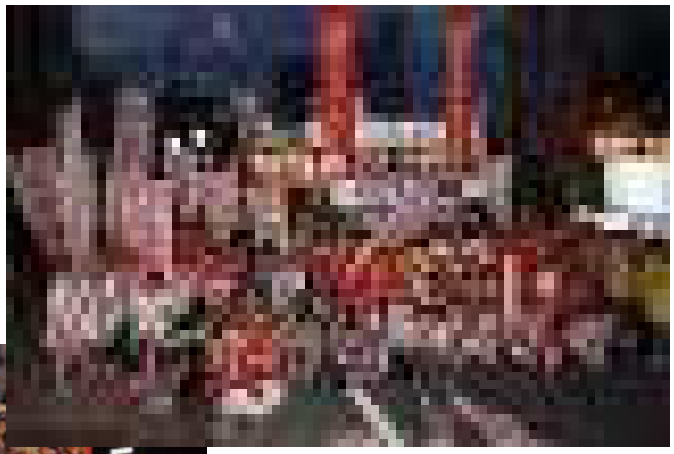
世界各地での医療ミッション

医療協力事業として、ネパールなど発展途上国での医療活動にも参加しました。検査は全く出来ず、十分な量の薬もない中での診察は困難を極めました。

恵まれた日本との違いにカルチャーショックを受けることもありましたが、医師として果たすべき責任などを学ばせていただいたよい経験となりました。

烈夏七夕まつりへの参加

旭川の夏の風物詩となった「烈夏七夕まつり」。
グループとして 100 名を超える大所帯で山車を引き、
練り歩きながら、まつりを盛り上げました。



雪の中でもてなし隊・大雪での協力

経済産業省のサービス産業創出支援事業として、障害当事者自らがプロデュースする「ユニバーサルな体験交流型旅行商品」の提案・提供について調査研究を進めるプロジェクトに、医療面でのサポートで参画しました。

カンボジアに小学校を寄付

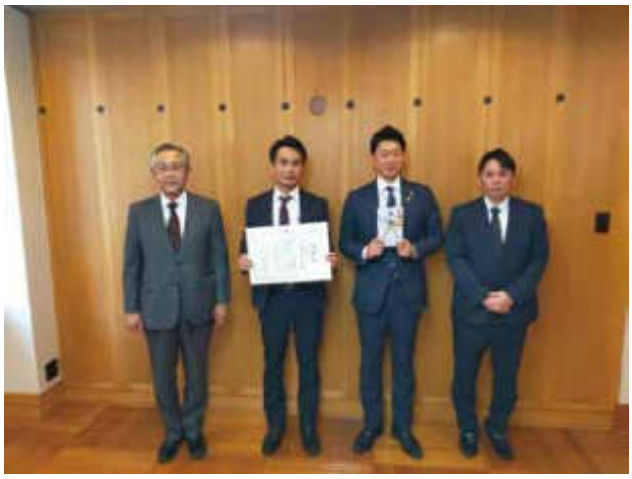
カンボジアでは 1975 年にポル・ポト政権が成立。共産主義を掲げたポル・ポトは知識階級を資本主義を生み出す者として弾圧。医師や教師を含む知識階級は虐殺されてしまいました。教材や学校も破壊され、カンボジアの教育は深刻な後退を余儀なくされてしまいました。

当グループは学校に行けない子供達に少しでも貢献するため、カンボジアに小学校を寄付しました。

旭川市の除排雪事業へ寄付を実施

グループ創立 30 周年の節目を迎えコロナ禍において何ができるのかを検討。今津市長が注力されている除排雪を応援するために，旭川市の除排雪事業に寄付を致しました。

当グループの寄付を契機として，市に頼るばかりではなく、市を応援する人が 1 人でも 2 人でも新しく出てきてくれるのではないかという期待も込めての寄付です。
今津市長からも「大変ありがとうございました。今回の寄付を有効に活用させていただきます。」とのお言葉を頂きました。



感謝状

くにもとメディカルグループ
代表 國本正雄 様

貴グループは冬季の安全で快適な道路環境の保持に深い理解を示し本市の除雪事業に多額の寄附をされましたことは市民生活に寄与するところ誠に大であります
ここに深く感謝の意を表します

令和四年二月八日
旭川市長 今津寛介

新型コロナウイルスの職域接種を実施

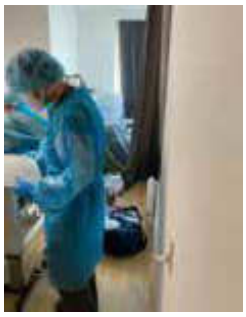
新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への収束に貢献するため職域接種を実施しました。男山株式会社の職域接種会場にて約 3,000 名にワクチンを接種しました。

また、旭川のワクチン接種の現場の状況を把握すべく、今津旭川市長がワクチン接種の視察に来られました。

（今津旭川市長視察の様子）

札幌北 14 条クリニック
COVID-19 JMAT への協力

COVID-19 JMAT 隊員として札幌北 14 条クリニックの医師・看護師等の職員が新型コロナウイルスの陽性患者に対して自宅療養者への往診・訪問診療を実施。札幌市において新型コロナウイルスが感染拡大する中、かかりつけ医の機能を発揮し地域に貢献しました。



イオンと協力しイベント開催
コロナとたたかうすべてのひとへ” ありがとう” を届けよう。

長引くコロナ禍において、感染リスクをの高い仕事に就いている医療従事者、介護士、宅配業者、ゴミ収集業者、運転手などへ子供たちから「ありがとう」のメッセージを届けるイオンの取り組みと、くにもとメディカルグループがタッグを組みました。

イオンモール札幌平岡店にてこども病院イベントを実施し、2022 年 3 月 26 日・27 日の 2 日間で延べ 80 人の子供が参加。イベント参加後はありがとうの思いを込めたメッセージを書き、掲示板に貼り付けました。

病院トップの
Cool Head, but Warm Heart
経営者魂 Vol.45

國本正雄

医療法人健康会
くにもと病院 理事長

大腿骨骨折患者を専門に急性期医療を担ってきた「くにもと病院」が、統合により回復期機能の強化に乗り出した。着々と全国に介護の拠点を増やすとともに、海外展開にも意欲を見せる事業モデルに、方々から注目が集まっている。

専門病院が挑戦する地域の包括的支援と三方よしのまちづくり

(C) 2021 日本医療企画

Q&A 10in10s

Q1 [illegible]
見かけない。

Q2 [illegible]
最高なところ。

Q3 [illegible]
コロナ禍の中で医療再生特区となった長崎県を支援し、くにもと病院と連携することで貢献できること。

Q4 [illegible]
骨はゴルフにはまっていました。

Q5 [illegible]
違い過度です。骨の中がスカスカで疲れしびれるの中毒でありがい。

Q6 [illegible]
1人に頼るのは困ないですが――、多くの方に力を地図になりました。

Q7 [illegible]
経済ニュースの確認と情報チェック。

Q8 [illegible]
特にございません。

Q9 [illegible]
ゆっくりと読めるかもしれない。

Q10 [illegible]
病院のにとどまらずではなく広く皆の中に動きに関心を持ち、良いアイデアが思いポーンは実現に行動に移すこと。

行政処分をサポートする24の助言のコールセンターをつくるが、ご相談が殺到しています。これはNTTグループと一緒にシステムを開発していきます。病院運営については、病院コンサルティングをやっている社会サービスとタッグを組んでいます。プラットホームとなる事業体を立ち上げます。地方創生にいても、高い仕事をして結果を出せるものであれば、可能性があることを実感しています。

また、地域の一分を担うことも大切にしています。北海道にいては北海道の一隅をの使命。それ以外の地域は大きな地元が多くあります。北海道の事業所を地図よりも多くしたい。それはあの北海道というマーケットはおおきな可能性を秘めていると思っているからです。様々な事業とコラボレーションを進めていきたい。

――これまでの経営者人生で、最も感謝したものはどのような時代でしょうか。

國本 当初と同業としたクリニックが札幌に、パブリック医院クリニックが長崎県にあったことです。それ以外の地域は大きな地元が多くあります。北海道の事業所を地図よりも多くしたい。それはあの北海道というマーケットはおおきな可能性を秘めていると思っているからです。様々な事業とコラボレーションを進めていきたい。

――2021年6月、同じ旧月市内にあった旧・丸善病院を統合しました。グループとしては、介護施設をあわせるもメンバー数が100名を超えています。現在とこれからの事業展開をお教えください。

國本 旧月市で近代病院を立ち上げた長崎医療を後押ししてきました。同じ月市内にある丸善病院が医療再生法を適用され、当院に統合の話をいただきました。コロナ禍でしたが地域医療を担う責任があるお話を受けて、今月に至ります。統合を機に、くにもと病院は地域包括ケア病棟を主軸に回復期を長く病院へと生まれ変わりました。そのビジョンを定めたのは、ゆくゆくは医療リハビリテーションの拡張への転換を見据えて体制を整えていくためです。

旧月市も含めた月中部医療圏は、将来的に回復期機能が[illegible]日本は不足ともいえる状況です。高齢者の在宅復帰を支援する地域密着のハブとなる病院が、医療を支える地域包括ケアシステムの実現に欠かせません。回復期機能をメインとする診療所をはじめ、在宅療養病院、ホームや認知症グループホームなどの介護施設も展開するグループ[illegible]プが一体となって、地域包括ケアシステム構築に取り組みたいと思っています。

さらに病院の医療としては、まちづくりを実践を進めていきます。10月、半年後を目標に旧月中心部に移転し、医療・介護・在宅医療、健康づくりまでサービストップの総合的なメディカルタウンとする日本初ともいえる計画しています。日本版CCRC[illegible]、札幌において同様の計画を進めています。高齢者の生きがいや健康づくりを支援し、現在働いている人でもこの地域を住まう方が住めるようにすることで、子どもやシングルマザーといった次世代や現役世代を支える仕組みとして医療でもある仕組みづくりをめざします。高齢者と子育て世代・地域が「三方よし」のまちづくりの実現に向けて地域をしていく活動です。

加えて、将来的な海外展開も見据えて海外展開にも含まれています。「日本式介護」を広げたいと、中国に新施設を出向させるほか、タイやベトナムでも事業を展開します。

――事業の展開にあたってどのようなことを意識していますか。

國本 高齢の世はつくらないことです。CCRCも高齢者についても、行政や民間様々な方法のなかで地方の高齢者に取り組みました。これにより、地域医療はまちづくりとは切っても切れないものであることを日本人も気づかされていたのです。今、旧月は最も高齢化が一番進んだところです。医療法の[illegible]で、医療・介護の機能づくりを中心に据えて、地域を核にプロジェクト全体で取り組んでいきたいと考えています。

事業展開には先を見通す力と人脈が大事

PROFILE

くにもと・まさお●1964年、宮崎県生まれ。大阪医科大学卒業。大阪いしだ市民病院の勤務を経て、91年、国内初で「くにもと記念病院」開業。国内医科大学臨床研修教授、日本外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医、日本プライマリケア連合学会認定医・指導医など。

(C) 2021 日本医療企画

●医療法人健康会 くにもと病院
専門病院の強みを軸にグループで地域を支援

最新医療経営PHASE3（フェイズスリー）
2021年8月号

CCRC（生涯活躍のまち）構想

「未来を創る、多世代共創の街」

日本は少子高齢化・人口減少・貧困・年金制度の崩壊・老老介護・認認介護・独居老人（高齢者の孤立化）・孤食・待機児童・国民医療費の増加・人手不足等多くの社会問題を抱えています。

特に超高齢社会を迎えている日本にとって、健康寿命の延伸は必須であり、シニア世代の社会参加・社会的役割は不可欠です。単にアクティブシニアが移住し、同世代の仲間たちとの健康増進を目指すＣＣＲＣではなく、アクティブシニアが次世代や同世代を支える側にまわることができる仕組みを大手デベロッパーと当グループで現在検討しています。

高齢者・子育て世代・地域（国）にとって「三方よし」の仕組みで、多くの社会問題を解決することを目指しています。加齢に伴い、就労→ ボランティア活動→ 趣味・お稽古事→ 友人・近所付き合い→デイサービスと社会参加活動は変化していきます。この変化に合わせた仕組みやコミュニティーをタウン内で提供することで多世代が交流する「つながり」を形成します。次世代がつながる「役立つ街づくり」、未来を多世代と共創する想いを形にします。

居住系

アクティブシニア向けサ高住

併設：シングルマザー用一般住戸（寮）
ひとり親支援・シニアハローワーク
ペット可能

要介護者向けサ高住

併設：小規模多機能型居宅介護
訪問看護・訪問介護
居宅介護支援事業所

特定施設入居者生活介護

認知症グループホーム

地域交流系

地域交流センター

地域包括支援センター・子ども食堂
次世代デイトレ（デイサービス）・寺子屋
シニア用フィットネス・販売所・喫茶店

誘致系テナント

温泉施設（SPA）・ペットショップ
エステ・保育所・ヘアサロン
診療所（訪問診療可能）

再開発事業

「世代・性別・障がいをこえて人々がつながる街へ！」

インフラ整備の老朽化と少子高齢化の進行が著しく、地区全体の再編成が必要な地域について、現在大手デベロッパーと街の再開発について検討しています。各地区毎に下記のコンセプトを掲げています。地域住民、地域の多様な主体が参画し、人と人、人と地域資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくユニバーサルシティを目指しています。

人がつながる 健康長寿の街

アクティブシニア向けサ高住

大手デベロッパー ＋

カルチャースクール
子ども食堂
複合型相談センター
一般向けフィットネス
学童保育・託児所

未来への投資 夢叶えるの街

就労体験施設

一般就労を目指した支援 ＋ なりたい自分を見つける支援

キャリア教育センター
放課後等デイサービス
就労移行支援事業
就労継続支援事業
相談支援事業

心がつながる 安らぎの街

特定施設入居者生活介護
グループホーム（障がい者向け）

介護・看護事業について

株式会社健康会の設立

介護保険制度が開始した 2000 年に介護事業を担う株式会社健康会を設立。ヘルパー養成講座の開講、ヘルパーの派遣を開始しました。

当時、医療法人を母体とした企業グループが株式会社を設立し、介護事業に参入するということは珍しく、先進的な取り組みでありました。

2000 年以前の老人福祉法や老人保健法の枠組みでは、日本の急速な高齢者の増加に対応しきれない側面があり、2000 年の介護保険制度の開始と共に多数の民間事業者が介護事業に参入し、整備が急速に進みました。

当グループは、医療法人を母体としているため、「医療・看護・介護の質の担保」を念頭に置き事業を構築を進めて参りました。

旭川の医療法人健康会

株式会社を設立
介護に本格参入

まずヘルパー派遣

日本経済新聞　2000

地域連携の重要性

くにもと病院に 1997 年に地域連携室と医療相談員を院内に配置、地域医療機関や介護施設との密接な連携を図ってきました。

当グループの介護施設を含めた地域の医療・介護施設との密接な連携のもとで、患者様の在宅復帰へのサポートを行って参りました。

2021 年にはくにもと病院が丸谷病院と統合し、療養病棟 41 床、地域ケア病棟 100 床の病院にリニューアルしたため、地域連携の重要性がさらに高まりました。1997 年より着実に積み上げて来た地域とのつながり・関係性が現在ではさらに強固なものになっております。

介護施設への挑戦

株式会社健康会は 2004 年に介護施設への参入も果たしました。旭川にて認知症グループホームであるグループホームあけぼのを開設。当グループ最初の介護施設となりました。

また、2010 年にはメディケアホームちゅうわを開設。当グループ独自のブランドであるメディケアホーム（住宅型有料老人ホーム）の事業展開が始まりました。医療法人を母体としたグループの強みを活かし、医療依存度の高い方々の受入れを入居しやすい価格帯で実現して参りました。

2020 年にはメディケアホームの医療対応を強化したドクターナーシング事業も開始。さらに2021には介護付有料老人ホームカルナシア栄町も新規開設し、介護施設は株式会社健康会の中核事業となりました。

グループホームあけぼの

メディケアホームちゅうわ

ドクター・ナーシングホーム元町

2022 年 3 月現在
株式会社健康会 介護施設数

認知症グループホーム	16 棟
メディケアホーム	22 棟
ドクター・ナーシングホーム	1 棟
介護付有料老人ホーム	1 棟
東京都都市型軽費老人ホーム	5 棟
合計	40 棟

札幌への進出

2011 年に株式会社健康会は北海道最大の都市である札幌市に、メディケアホーム新道東の開設により進出しました。札幌進出からわずか 10 年余りでグループで最大の売上高、事業所数、職員数を誇る規模まで拡大しました。札幌エリアは今後も重点的に事業拡大を行っていく方針です。

メディケアホーム新道東

東京への進出

2011 年の札幌進出からわずか 4 年後の 2015 年には、東京都港区浜松町に東京支社を構え、東京都都市型軽費老人ホームとデイサービスセンターの複合施設を 1 棟開設、そして事業承継を 1 件実施、東京進出を果たしました。

北海道から東京に進出した医療・介護事業者は数少なく、当グループとしてもリスクを伴う大きなチャレンジでした。試行錯誤を繰り返し、失敗もありましたが、現在では 100 名近い職員数と 7 事業所を展開するまでに至り、東京での事業も安定軌道に乗りました。

介護事業 積極化

東京支社足場に

健康会

北海道のくにもとメディカルグループ、町田市のサ高住を含む施設を承継

サ 高住

健康会 http://www.kenkohkai.jp/

くにもとメディカルグループで、北海道を中心に住宅型有料老人ホームや訪問介護事業所などを展開する㈱健康会は、東京都町田市根岸のサービス付き高齢者向け住宅と、併設のデイサービス、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所を事業承継、9月1日より「メディケアコート町田根岸」として運営を開始している。

同施設は14年4月に開設されたもので、建物は3階建てで25.18㎡の居室を50戸備える。

同社はこれまで北海道を中心に事業を行なっていたが、近年は都内にも都市型軽費老人ホームを展開、またタイにも現地法人を設け、グローバルライフサポート事業とヘルスケア事業などの拡大を進めている。

事業承継した「メディケアコート町田根岸」。カラオケルームなど共用部も充実

2016年5月高齢者住宅新聞

人居倍率2倍

地方医療法人の躍進

医療法人健康会 理事長 王雄

東京・海外進出踏まえて

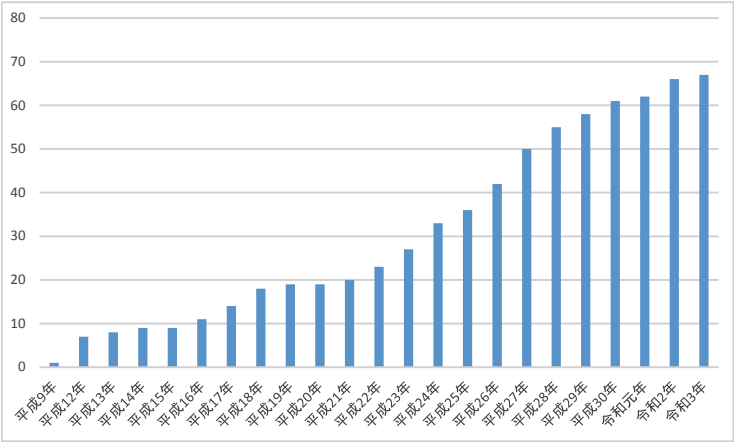
都内に軽費老人ホーム

北海道を代表する企業体へ

2000 年に設立した介護事業を担う株式会社健康会は 22 年間で事業所数を飛躍的に伸ばしました。看護・障がい事業等にも分野を広げ、北海道から東京への進出も果たしました。

2020 年には病院を含めたグループ全体での総床数が 1000 床に達し、相応の企業規模を誇るまでに至りました。

現在では北海道内外の企業からも注目されるようになり、大規模案件のオファーも増えました。大規模案件の実現に向け、各種プロジェクトを並行して進めています。北海道を代表するメディカルグループへと飛躍していけるよう、今後も事業展開を加速していきます。



くにもと病院 総床数1000床達成
月一日に丸谷病院と統合 移転

運営ベッド数1000床超に

くにもとメディカルグループ

くにもとメディカルグループ（札幌市）は、2月8日、グループが運営する医療機関・介護施設の病床数・居室数の合計が1000床を超えたと発表した。

▲くにもと病院（北海道旭川市）外観

國本正雄 代表

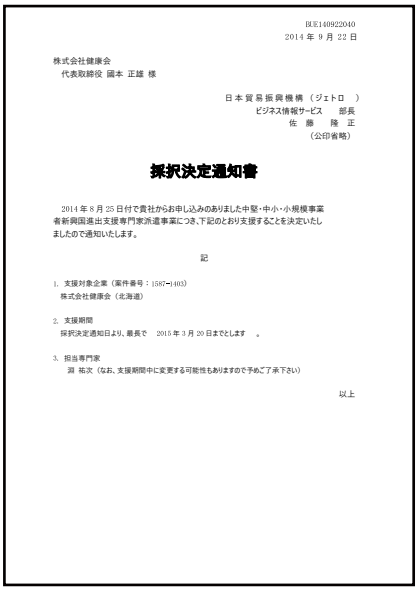
昨年1月の丸谷病院（北海道旭川市）のグループ編入、ケアハウス（東京都練馬区）および認知症グループホーム（札幌市）のあいつで開設が、グループの運営ベッド数の増大につながった。今年に入ってからも、札幌市が実施する21年度公募審査において、有料老人ホーム（50床）、認知症グループホーム（18床）が公募審査で選択され、さらなるベッド数の増加を予定している。同グループの國本正雄代表は、順調な展開について、「事業を展開する全エリアにおいて、各種選定され、近年、事業所数・運営ベッド数を順調に拡大することができている。これは、グループの全職員が日々、一生懸命に患者や利用者に対して真の高いサービスを行ってきた、その積み重ねによるもの。日々の頑張りが地域住民、行政に高く評価されているとの証と捉えている。今後も、グループ一丸となって、さらなる事業拡大を図って行くとしている。

くにもとメディカルグループ総ベッド数（予定含む）	
くにもと病院	61床
丸谷病院	85床
認知症グループホーム	306床
住宅型有料老人ホーム	471床
東京都都市型軽費老人ホーム	100床
特定有料老人ホーム	50床
合　計	1073床

躍進を続ける「健康会」
「くにもとメディカルグループ」に迫る

札幌・東京へ事業展開
順調な30年・健康会に迫る

海外への進出



BUE140922040
2014 年 9 月 22 日

株式会社健康会
代表取締役 岡本 正雄 様

日本貿易振興機構（ジェトロ）
ビジネス情報サービス 部長
佐 藤 隆 正
（公印省略）

採択決定通知書

2014 年 8 月 25 日付で貴社からお申し込みのありました中堅・中小・小規模事業者新興国進出支援専門家派遣事業につき、下記のとおり支援することを決定いたしましたので通知いたします。

記

1. 支援対象企業（案件番号：1587-1403）
株式会社健康会（北海道）

2. 支援期間
採択決定通知日より、最長で 2015 年 3 月 20 日までとします 。

3. 担当専門家
淵 祐次（なお、支援期間中に変更する可能性もありますので予めご了承下さい）

以上

JETRO採択決定通知書

高橋前北海道知事と面談

海外進出の目的

JETROの支援、北海道庁のバックアップを受けタイに進出。
2015年12月タイに現地法人 KENKOKAI（THAILAND）CO., LTD.を設立。
2016年7月6日にバンコクにHair salon area-Jをオープン。アジア展開の第一歩。
本件を足掛かりとして海外事業を展開することが目的。
アジア健康構想に基づいた医療・看護・介護ノウハウの輸出も目指していました。
しかし、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い2021年6月に撤退。

バンコクにヘアサロン出店

来年3月 旭川の玉井さん

現地で美容師養成学校講師

夢の海外進出に挑戦

2015年12月北海道新聞

ひと 2016

玉井 玄己さん

タイに美容室を開業する美容師

2016年1月北海道新聞

バンコクTV局 Channel 5

バンコクTV局 AmarinTV

活動実績

2014年	9月	JETRO「専門家による新興国進出個別支援サービス」採択
2015年	1月	北海道知事、副知事、北海道庁経済部国際経済室往訪
2015年	4月	JETRO「海外展開のための専門家活用助成事業」採択
2015年	12月	KENKOKAI（THAILAND）CO., LTD.設立
2016年	7月	Hair salon area-J 開店
2021年	6月	新型コロナウイルスの世界的感染拡大により撤退

書籍・CD

痔主にならない読本
國本正雄　著
北海道新聞社　1997年12月発売

トイレは人類創世とともにスタートした…。有史以来、人類を悩ませ続けてきた「痔」について、その予防法や治療法をアドバイスする一冊です。

日本人の3人に1人は「ぢ」なんです
奥田哲也、國本正雄　共著
ベネッセ　1998年3月発売

痔の原因や種類、症状などを解説すると共に、医師による診断や手術の実際、悪化させないための好ましい生活などを紹介しています。

もうがまんしないで　学校のウンチ君
平田公一、國本正雄　共著
北海道新聞社　1998年6月発売

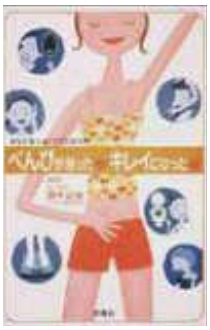
札幌医科大学平田公一教授との共著で、ウンチをすることが人間にとっていかに重要なことであるかをわかりやすく解説しています。

なぜ笑うと便秘が治るの？
國本正雄　著
ハート出版　1998年8月発売

食物繊維よりも効く? 笑いの「腹」作用。体質や習慣も変えることができ、薬代もいらない便秘解消法。地元・北海道で人気のDr.デルの画期的解決法を公開。

図解　人に聞けない　痔の問題と解決
國本正雄　著
ハート出版　2000年9月発売

様々な肛門疾患の治療法をわかりやすく説明しています。マンガやイラストをふんだんに使用し、親しみやすい内容となっています。



べんぴが治った　キレイになった
國本正雄　編
双葉社　2001年6月発売

健康の敵、特に女性にとっては一番の悩みである「べんぴ」。自分のべんぴのタイプや対処法をチェックするとともに、種類や原因、解消する方法について丁寧に紹介。

切らずに治る！最新治療いぼ痔注射療法
國本正雄、安部達也、鉢呂芳一　共著
ハート出版　2006年2月発売

重度の痔核を切らずに治す治療法「ALTA硬化療法」について当院医師が詳しく解説。

快便CD「すいすいセレナーデ」全５作　　ワーナー・パイオニア

すいすいセレナーデ

すいすいセレナーデ
Spring

すいすいセレナーデ
Summer

すいすいセレナーデ
Autumn

すいすいセレナーデ
Winter

テレビ出演

1996　NHK
「ためしてガッテン」実習！おなかの健康体操

1996　日本テレビ

NHK　おはよう日本　1996
「便秘に悩む小学生が増えている」

2002　NHK教育
「金曜アクセスライン」

2002　テレビ東京
「おはスタ！」

2011年2月8日　UHB　「のりゆきのトークDE北海道」
誰にも聞けない！　女性版！お尻の悩み解消バイブル

2011年6月23日　HTB　「イチオシ！」
日本人女性の2人に1人が悩む "便秘"専門外来って？

2014年5月21日HBC 今日ドキ！

2017年バンコクTV局 Channel 5

2017年バンコクTV局 AmarinTV

2017年バンコクTV局 AmarinTV

2017年3月BS朝日「ふれあい介護日記」

2019年3月19日放送セブンルール
関西テレビ放送フジテレビ系 全国ネット
くにもと病院看護師・動物写真家 半田菜摘

2019年10月12日放送
テレビ北海道（TVH）
ぶっちゃけ！終活TV くにもとメディカルグループ編

2020年8月30日放送
北海道テレビ（HTB）イチオシ！！ジブンイロ
～動物写真家＆看護師 異色のダブルワーク！涙のワケ～

2021年10月7日放送
NHK　ひるナマ！北海道
素顔の動物たち 写真家 半田菜摘

2022年2月11日放送
旭川ケーブルテレビポテト
くにもとメディカルグループ旭川の除雪事業に寄付

2021年5月HBC 今日ドキ！

くにもと病院

大腸・肛門専門病院としての機能をさらに充実

くにもと病院は2021年5月1日に丸谷病院を統合し141床の病院として
リニューアルオープンしました。
これまでの肛門外科・胃腸内科など急性期としての強みに加え、地域
高齢者等の回復期・在宅復帰を支援し、地域医療のハブとなる病院を
目指します。

概要

【開設者】　医療法人健康会
【理事長】　國本正雄
【病院長】　安部達也
【病床数】　141床
　　地域包括ケア病棟100床
　　療養病棟41床
【診療科目】　肛門外科
　　胃腸内科
　　内科
　　リハビリテーション科

認定施設

北海道大学	臨床研修協力施設
	早期臨床演習施設
旭川医科大学	協力型臨床研修病院
	早期臨床実習施設
札幌医科大学	臨床研修協力施設
旭川赤十字病院	協力型臨床研修病院
日本外科学会	専門医制度修練施設(指定)
日本大腸肛門病学会	認定施設
日本消化器外科学会	専門医修練施設・関連施設
日本臨床肛門病学会	臨床肛門病　技能認定施設

日本トップクラスの肛門手術数

最新医療技術の習得に努め、多数の肛門手術を実施しており、全国トップクラスの実績を誇ります。

痔の三大疾患と言われる痔核·痔瘻·裂肛はもちろん、様々な肛門疾患に対して適切な治療を提供しています。

痔核（イボ痔）根治術症例数 上位19

（ ）内の数字は前年実績

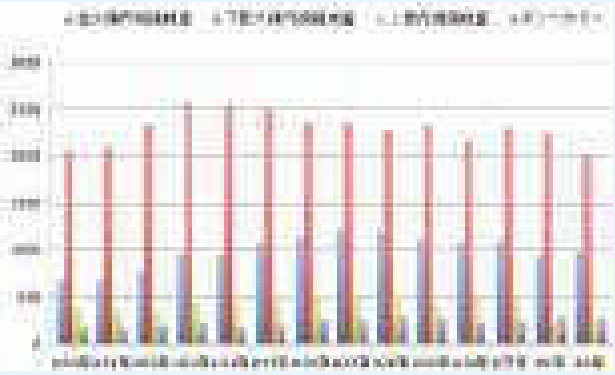
順位	医療機関名	所在地	痔核根治術	痔瘻手術
1	札幌いしやま病院	中央区	2111（1869）	1056
2	札幌駅前禅見おしりとおなかのクリニック	中央区	822（803）	283
3	くにもと病院	旭川市	523（762）	260
4	肛門科なかやま病院	厚別区	352（277）	114
5	胃腸内科・肛門外科山岡医院	豊平区	250（237）	45
6	三浦外科肛門科医院	小樽市	207（－）	5
7	いのちの木クリニック	帯広市	203（－）	23
8	札幌フィメールクリニック	東区	168（133）	25
9	旭川消化器肛門クリニック	旭川市	155（188）	50
10	関西病院	帯広市	86（91）	34

痔核（イボ痔）根治術症例数 上位19

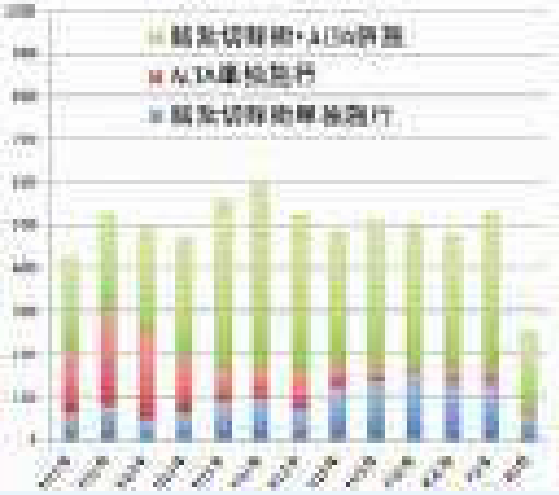
（ ）内の数字は前年実績

順位	医療機関名	所在地	痔核根治術	痔瘻手術
1	札幌いしやま病院	中央区	2111（1869）	1056
2	札幌駅前禅見おしりとおなかのクリニック	中央区	822（803）	283
3	くにもと病院	旭川市	523（762）	260
4	肛門科なかやま病院	厚別区	352（277）	114
5	胃腸内科・肛門外科山岡医院	豊平区	250（237）	45
6	三浦外科肛門科医院	小樽市	207（－）	5
7	いのちの木クリニック	帯広市	203（－）	23
8	札幌フィメールクリニック	東区	168（133）	25
9	旭川消化器肛門クリニック	旭川市	155（188）	50
10	関西病院	帯広市	86（91）	34

ALTA による硬化療法と結紮切除術実績



内視鏡実績



施設基準

①基本診療料
- 初診料　機能強化加算
- 地域包括ケア病棟入院料1
- 看護職員配置加算
- 看護補助体制充実加算
- 看護職員夜間配置加算
- 療養病棟入院基本料1
- 診療録管理体制加算1
- 医療安全対策加算2
- 医療安全対策地域連携加算2
- 感染対策向上加算2
- 連携強化加算
- 患者サポート体制充実加算
- 療養病棟療養環境加算1
- データ提出加算1
- データ提出加算3
- 入退院支援加算1
- 入院時支援加算
- 地域連携診療計画加算
- 認知症ケア加算2
- 臨床研修病院入院診療加算

②特掲診療料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん治療連携指導料
- 薬剤管理指導料
- 在宅療養支援病院
- 在宅時医学総合管理料
- CT撮影及びMRI撮影
- 運動器リハビリテーション Ⅰ
- 脳血管疾患等リハビリテーション Ⅱ
- 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
- 外来化学療法加算2
- 二次性骨折予防継続管理料2

③その他
- 入院時食事療養 Ⅰ
- 食堂加算

医師紹介

國本 正雄　理事長

札幌医科大学医学部　昭和56年卒
医学博士

旭川医科大学　臨床指導教授・非常勤講師
日本外科学会　認定医・専門医・指導医
日本大腸肛門病学会　専門医・指導医・評議員
日本プライマリ・ケア連合学会　認定医・指導医
日本消化器外科学会　認定医
日本消化器内視鏡学会　専門医・指導医
全日本病院協会　北海道支部　幹事
北海道病院協会　常務理事
内痔核治療法研究会　世話人
日本臨床肛門病学会　評議員・技能指導医
全国介護事業者連盟　理事

安部 達也　院長

旭川医科大学医学部　平成5年卒業
医学博士

旭川医科大学　臨床指導教授
日本外科学会　認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会　専門医・指導医
日本大腸肛門病学会
　　専門医・指導医・評議員
日本臨床肛門病学会　技能指導医
日本消化器病学会　専門医
消化器がん外科治療　認定医
日本臨床腫瘍学会　暫定指導医
日本がん治療認定医機構
　　がん治療認定医・教育医

鉢呂 芳一　副院長

札幌医科大学医学部　平成6年卒業
医学博士

旭川医科大学　臨床指導教授
日本外科学会　認定医・専門医・指導医
日本大腸肛門病学会　専門医・指導医・評議員
日本静脈学会　会員
内痔核治療法研究会　世話人
日本臨床肛門病学会　技能指導医

村上 雅則　診療部長

旭川医科大学医学部　昭和56年卒業
医学博士

日本消化器病学会　専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会　専門医・指導医
日本消化器がん検診学会　専門医・指導医
日本内科学会　認定医
日本医師会　認定産業医

小原 啓　診療部長

旭川医科大学医学部　平成5年卒業
医学博士

旭川医科大学　臨床指導教授
日本外科学会　専門医
日本消化器外科学会　専門医・指導医
日本がん治療認定医機構　がん治療認定医

稲垣 光裕　診療部長

旭川医科大学医学部　昭和61年卒業
医学博士

日本外科学会　専門医・指導医
日本消化器外科学会　専門医・指導医
日本消化器病学会　専門医
日本消化器外科　消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定機構　がん治療認定医

太田 盛道　診療部長

札幌医科大学医学部　平成17年卒業
医学博士

日本臨床外科学会　専門医
日本消化器外科学会　専門医
日本消化器病学会　専門医
消化器がん外科治療　認定医
検診マンモグラフィ読影　認定医
緩和ケア講習会　修了

《非常勤医師》

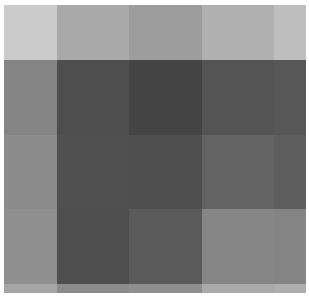
札幌医科大学 医学部
　消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座
　（旧第一外科）

旭川医科大学 医学部
　血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野
　（旧第一外科）
　肝胆膵・移植外科学分野
　（旧第二外科）
　消化器・血液腫瘍制御内科学分野
　（旧第三内科）
　眼科学講座
　蘇生・麻酔学講座

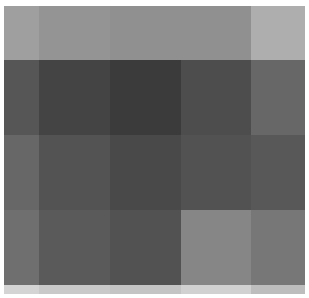
その他医療機関

便秘外来・便失禁外来

便秘外来



直腸瘤



直腸重積

下剤が効きづらい難治性の便秘に対応するため2011年に新たに開設し、すでに2,000例以上の治療実績があります。
まず食事内容や生活習慣を見直し、正しい排便姿勢などを指導します。そして直腸肛門機能検査や排便造影検査により便秘の原因を突き止め、個々の病態に即した治療を行っています。直腸瘤や直腸重積（上図）などの器質性の便排出障害に対しては、体の負担の少ない低侵襲手術を行っています。

便失禁外来

2005年に日本初の便失禁外来を開設しました。これまで1,000例以上の診療を行いました。2014年には新たに認可された仙骨神経刺激療法（SNM)を北海道で初めて施行しました。
その他にも多くの治療法を開発して（下表）、治療の難しい便失禁に立ち向かっています。
「便が気付かないうちにもれている」「便をトイレにいくまで我慢できない」などの症状にお悩みの方はご相談下さい。

便失禁外来・便秘外来 開設時間

火・水・金曜日　9時00分～11時30分
月～金曜日　14時00分～16時00分
※月曜日14時00分～16時00分は便失禁外来
※金曜日の午後は予約制となります。
担当医師：安部達也

便排出障害（スーパー便秘に対応可能！）

- ✓スーパー便秘の診断には専門的検査（肛門内圧検査、バルーン排出検査、排便造影検査）が必要です。一般の病院ではほとんど行われておりませんが、当院では実施可能です。
- ✓治療の第一選択はバイオフィードバック療法（排便リハビリ）です。こちらも一般の病院ではあまり行われておりませんが当院では実施可能です。
- ✓内科的治療が無効な場合は、特殊な手術が必要な場合もあります。高齢の患者も安心して治療可能な低侵襲で安全な方法をご提供しています。

くにもと病院統合移転に伴い便排出障害の治療がさらに充実！

- ✓便秘や便失禁の専門外来の診療枠を拡大！
- ✓専門外来のための広々とした診察室を新設
- ✓排便造影検査装置を最新機種にアップデート
- ✓排便機能検査とバイオフィードバック療法のための専用検査室を新設
- ✓病床数が増えるので、ご希望の方には入院でゆったりと排便訓練に励んで頂けるようになります。

最新鋭の排便造影装置

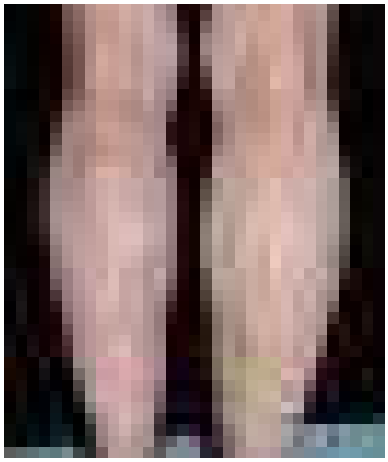
当院で診断・治療可能な難治性便秘リスト

◎肛門狭窄（細い便しか出ない）
◎アニスムス（息めば息むほど便が出にくい）
◎糞便塞栓症（いわゆる糞詰まり）
◎直腸瘤（いわゆるポケット便秘）
◎直腸重積（肛門付近に何か挟まっているような違和感）
◎その他

くにもと病院はスーパー便秘にフルスペックで対応可能な北海道内で数少ない医療機関です！

下肢動脈瘤外来

下肢静脈瘤外来



下肢静脈瘤

下肢静脈瘤とは、下肢の表在静脈が拡張や蛇行するもので発症すると

“だるさ、疲れやすい、夜間に足がむくむ、痛み、かゆみ”

等の症状が出てきます。

重症化すると湿疹などができたり、色素沈着や潰瘍が生じることがあります。静脈瘤の危険因子として、女性であること、加齢によるもの、妊娠・分娩をきっかけによるもの等があります。下肢静脈瘤は年々少しずつですが大きく膨らんでいきます。

上記の症状でお悩みの方は、まず一度ご相談下さい。

下肢動脈瘤外来 開設時間

開設時間：月・木曜日 9時00分～11時30分

担当医師：鉢呂　芳一

静脈瘤の危険因子

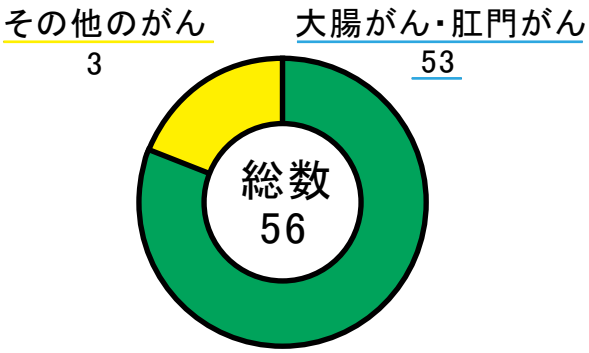
性別	女性に頻度が高い
年齢	年齢とともに静脈瘤の頻度は増加
遺伝	親や姉妹に静脈瘤のある人に起こりやすい
妊娠 分娩	妊娠、分娩をきっかけに静脈瘤ができやすい 特に2度目以降の妊娠でできる人が多い
立ち仕事	立ち仕事（美容師、調理師、店員）に従事する人に多く、また進行しやすい

内視鏡検査

内視鏡検査

くにもと病院　がん発見数

2021年1月～12月



当院では年間約3,300例の上部・下部内視鏡検査を施行しており、正確な診断と患者様にとって苦痛の少ない内視鏡検査を目標に、充実した体制で日々の検査を行っています。

地域包括ケア病棟

くにもと病院は100床の地域包括ケア病棟があります。
急性期治療を経過し、病状が安定した患者に対して在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟です。

1.介護老人保健施設等に入居されている方、または自宅で療養を継続しているが、一時的に入院が必要になった方

2.急性期病院での入院治療により状態は改善したが、もう少し経過観察が必要な方

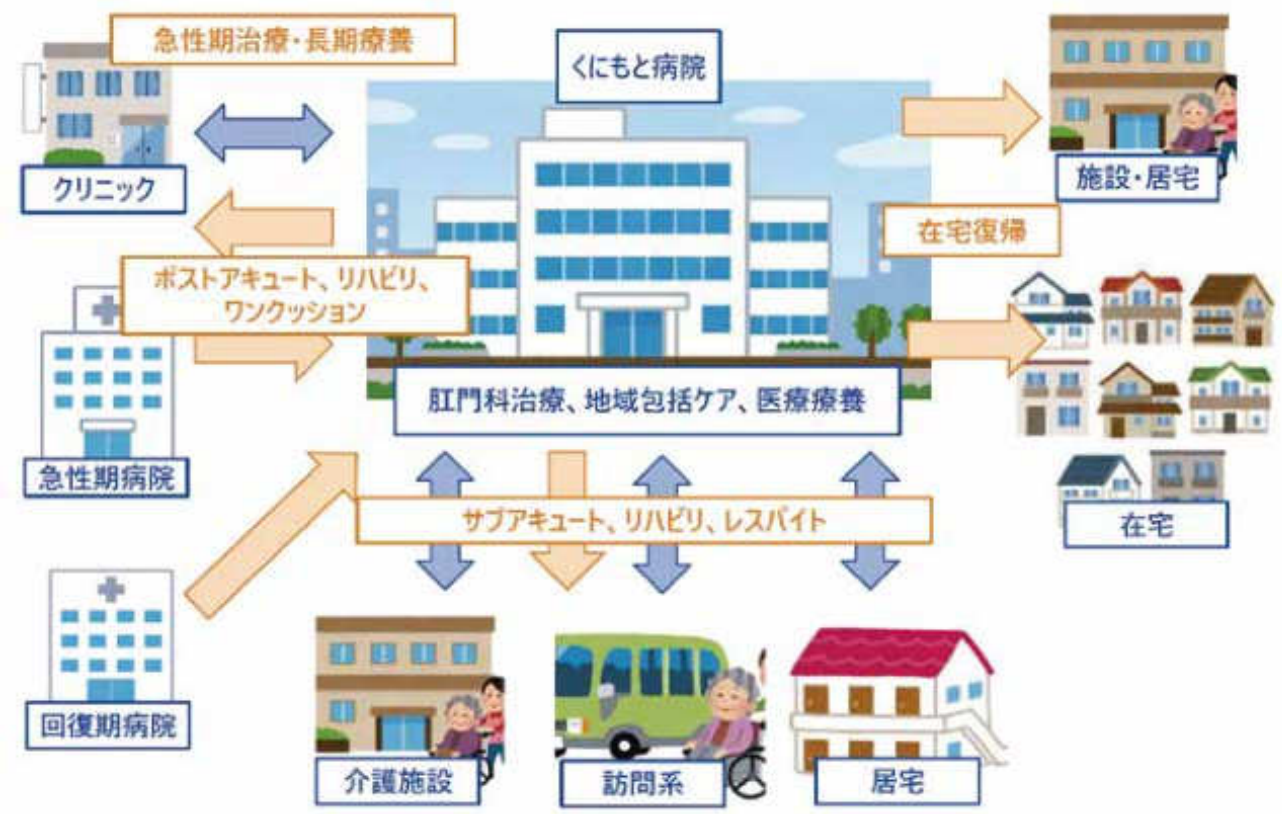
3.急性期病院での入院治療により症状が安定し在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方

4.在宅での介護サービス等、療養準備が必要な方

5.レスパイト目的

上記を対象に、在宅や介護施設への復帰に向けた医療や退院支援を行います。

当院では14名（令和4年5月時点）のセラピストが在籍し、機能回復・維持・在宅復帰に向けたリハビリに力を入れています。



療養病棟

くにもと病院には医療療養病棟が41床あります。
医療療養病棟は急性期医療の治療を終えても、引き続き医療提供の必要度が高く、
病院での療養が継続的に必要な患者が入院する病棟です。

入院の対象となる方

1.急性期の治療を終えた方
急性期治療を既に終えたが、施設入所・在宅復帰が困難で引き続き入院治療が必要な方、また社会復帰のため治療継続を要する方。
A)胃ろう栄養・経鼻栄養が不可能なIVH患者
B)頻回な痰吸引、気管切開管理、褥瘡管理等の医療処置を要する方
C)脳血管障害・脊髄損傷後のリハビリを要する方
D)パーキンソン病等の神経難病患者

2.在宅医療の継続が困難な方
自宅での訪問診療や往診、訪問リハビリテーション等を受けていたが、病状や治療環境の変化により病院への入院を希望される方

3.介護施設への入所をお待ちの方
特別養護老人ホームや老人保健施設、高齢者住宅などへの入所待ちで、主としてリハビリテーションを目的とする短期入院(1～3ヶ月)を希望される方。

4.レスパイト目的

当院の療養病棟で受入可能な状態

認知症の対応	○	膀胱ろうの管理	○
点滴の管理	○	腎ろうの管理	○
中心静脈栄養管理　CVP	○	尿留置カテーテル管理	○
中心静脈栄養管理　カテーテル	○	間歇導尿	○
輸血	○	喀痰吸引	○
輸液ポンプ管理	○	気管切開処置	○
酸素療法管理	○	人工呼吸器管理	×
褥瘡の管理	○	人工透析管理	△
創傷管理	○	腹膜透析管理	△
経鼻栄養管理	○	インスリン注射	○
胃ろうの管理	○	摘便	○
腸ろうの管理	○	浣腸	○
人口肛門の管理	○	疼痛管理	○
人口膀胱の管理	○	看取り	○

手術・検査件数　2021年

【肛門・大腸手術】

痔核根治手術・脱肛根本手術	255
痔核手術（血栓切除術）	42
直腸脱手術	16
直腸粘膜脱形成手術	90
痔瘻根治手術	96
肛門周囲膿瘍切開術・直腸周囲膿瘍切開術	156
裂肛根治手術	81
肛門皮垂切除術	84
肛門ポリープ・直腸ポリープ切除術	37
その他	36
合計	877

【内視鏡手術】

大腸ポリープ切除術	292

【その他手術】

下肢静脈瘤手術	61
その他	119

【主な検査】

上部消化管内視鏡検査	259
下部消化管内視鏡検査	2,031
全大腸内視鏡検査	980
直腸肛門内圧検査	1,634
肛門エコー検査	373

医療法人　健康会

おおあさクリニック

二川原 桂　院長

日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医
平成8年　旭川医科大学医学部卒業
平成16年　岩見沢北翔会病院
平成21年　市立美唄病院
平成29年　医療法人社団曙札幌北14条クリニック

開設：平成10年2月
診療科目：内科、外科、整形外科、
リハビリテーション科、訪問診療
連携施設：札幌徳洲会病院 連携施設
（総合診療専門研修Ⅰ）

医療法人社団　元気会

忠和クリニック

菱山豊平　院長

日本消化器外科学会 認定医・指導医
ICD 制度協議会 ICD 制度認定医
昭和45年3月　弘前大学医学部卒業
平成20年4月　栗山赤十字病院　院長

開設：平成11年11月
診療科目：内科、訪問診療

医療法人社団　曙

札幌北14条クリニック

川﨑浩之　院長

日本外科学会 専門医
平成6年3月　札幌医科大学卒業
平成28年8月　JR札幌病院
平成29年4月　滝川市立病院

開設：平成26年5月
診療科目：内科、訪問診療

居住系施設・看護・介護サービス事業所

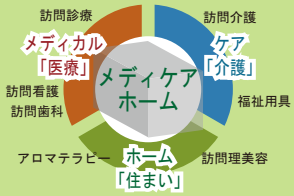
グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

平成 16 年より認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）事業を行っております。小規模で家庭的な雰囲気の中で生活することで認知症の進行を緩やかにするとともに、現有能力の維持・向上に取組んでいます。

健康会のグループホームは、認知症高齢者の方々が地域において、末永く安心して暮らしていける住まいの実現を目指します。

メディケアホーム（住宅型有料老人ホーム）

住宅型有料老人ホームを住まいの基盤として、診療所や訪問看護ステーションと連携し入居者の方々に対して医療・看護・介護サービスをシームレスに行い、医療依存度が高い方を中心に受入しております。



ドクター・ナーシングホーム（医療特化型住宅型有料老人ホーム）

医療特化型の住宅型有料老人ホームです。24 時間 365 日、看護師が常駐し神経難病やがん終末期、医療依存度が高い方も入居可能です。メディケアホームよりさらに重度者対応に特化しており、ご自宅での生活が難しい方のホスピスとなっております。

【対応可能な医療処置】

- ◆在宅酸素
- ◆中心静脈栄養
- ◆経管栄養
- ◆喀痰吸引
- ◆腹膜灌流
- ◆腎ろう・膀胱ろう
- ◆人口肛門・人口膀胱
- ◆導尿（膀胱留置カテーテル）
- ◆褥瘡処置・創傷処置
- ◆その他

介護付有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）

行政が定める一定の基準を満たし「特定施設入居者生活介護」の指定を受けた有料老人ホームです。
ブランド名の「カルナシア」はローマ神話に登場する、人の健康を守る女神の「カルナ」としあわせの「シア」を合わせたものです。入居者に健康・幸せに暮らして頂きたいという想いを込めています。

カルナシア栄町
カルナシア菊水（予定）

都市型軽費老人ホーム（東京）

平成21年群馬県での無届け施設における火災事故が社会問題化。（犠牲者の多くが都内の生活保護受給者）
この問題に対し東京都が新しい種類の施設を創設したものが、都市型軽費老人ホームです。
従来の軽費老人ホームに比べ基準が緩和されており、入居者の収入に応じて東京都から補助があります。
第一種社会福祉事業です。

通所介護（デイサービスセンター）

食事や入浴などの介護サービスを提供すると共に、レクリエーションや機能訓練などを行います。

デイサービスセンター東野幌　デイサービスセンター押上
デイサービスセンターちゅうわ

福祉用具・貸与販売事業所

福祉用具のレンタル・販売を行っております。
介護用品や各種消耗品販売も行っております。

ケアサポートセンターあけぼの

訪問介護（ヘルパーステーション）

ホームヘルパーがご自宅を訪問し生活援助や身体介護等のケアを提供します。

ヘルパーステーションあけぼの　ヘルパーステーション札幌東
ヘルパーステーションおおあさ　ヘルパーステーションしらかば

訪問看護ステーション

病気や障がいを持った人が、住み慣れた地域やご家庭で療養生活を送れるように看護師がご自宅を訪問し看護を行います。

あけぼの訪問看護ステーション　訪問看護ステーション札幌東
訪問看護ステーションおおあさ　訪問看護ステーションしらかば
訪問看護ステーション忠和

訪問リハビリテーション

理学療法士などのリハビリ専門職がご自宅を訪問し、リハビリテーションを行います。

おおあさクリニック
介護老人保健施設おおぞら

通所リハビリテーション（デイケアセンター）

身体機能の維持や生活機能の向上を目的として理学療法士などのリハビリ専門職によるリハビリテーションを提供します。

デイケアセンターおおあさ
介護老人保健施設おおぞら

介護福祉士実務者研修

介護福祉士実務者研修を開講致しています。当グループ以外からの受講も可能で、奨学金制度もございます。当社の介護施設で働きながら研修受講し資格を取得することができます。

また実務者研修だけではなく、社内研修なども企画実施しており、職員の継続的なスキルアップを支援しております。

介護福祉士実務者研修センターあけぼの
介護福祉士実務者研修センターあけぼの　札幌校
介護福祉士実務者研修センターあけぼの　苫小牧校

地域包括支援センター

介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、相談の受付や、支援を行う高齢者の総合的な相談・サービスの拠点です。

春光・春光台地域包括支援センター
大麻第一地域包括支援センター

ケアプラン相談センター

介護が必要になった方の相談を受け、介護サービス利用の認定申請代行やケアプランを作成します。

ケアプラン相談センターあけぼの
ケアプラン相談センターおおあさ
ケアプラン相談センターしらかば
ケアプラン相談センター健康会（ケアプラン相談センター札幌東と統合）

療養通所（療養通所介護センター）

医療ニーズと介護ニーズを併せ持った中重度者の方を対象に看護師が医療的なケアを提供します。
当グループの療養通所介護センターしらかばでは療養通所介護に併せて放課後等デイサービス（重度心身）と生活介護も行っており、子供から高齢者まで幅広い方々の受入を行っております。

療養通所介護センターしらかば

訪問理美容

医療機関・介護施設・ご自宅に訪問し、理美容サービスを提供します。

スマイルarea

鍼灸院

利用者様の体調や身体のお悩みに合わせた施術を行っております。訪問での施術をメインにしております。

健鍼灸院

介護施設入居相談

ご相談者様のニーズに合った介護施設をご紹介します。

介護施設入居相談所 健

介護老人保健施設おおぞら

介護老人保健施設おおぞらは医師による医学的管理の下、介護を必要とする高齢者の自立を支援し在宅への復帰を目指す施設です。

看護・介護といったケアはもとより、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーション、栄養管理・食事・入浴など日常サービスまで提供します。

丘珠空港を望める窓からは、花壇や園芸が楽しめる中庭も見え、また丘珠緑地も一望することができます。

緑豊かな眺望の中、心安らかにお過ごし頂けます。

【概要】
当初開設：平成 8 年 11 月
当グループに編入：令和 4 年 3 月 1 日
入所定員：100 名
通所定員：70 名
建物面積：4,350.14 ㎡
敷地面積：5,289.3 ㎡

【医療法人 健康会】

くにもと病院

院　長	安部　達也
副院長	鉢呂　芳一
診療部長	村上　雅則
診療部長	小原　啓
診療部長	稲垣　光裕
診療部長	太田　盛道
薬剤課長	中野　徹
栄養課長	池邊　明子
リハビリ課主任	神田　郁恵
看護部長	新野　さゆり
副看護部長	谷本　久恵
２病棟課長	飯澤　智子
２病棟主任	徳光　佳奈
３病棟課長	中南　志津乃
３病棟係長	小野　梓
４・５病棟課長	田居　美樹
４・５病棟主任	石田　美智代
外来課長	平沼　智美
事務部長	中尾　高久
次長	藤田　晃
事務係長	藤川　政広
医事課主任	山口　雄吾
地域連携室室長	笹渕　弘美
医療相談室係長	澤田　亜希子

おおあさクリニック

院　長	二川原　桂
看護課長	日向　美穂見
事務長	松岡　宏樹

一種事業所（ヘルスケア事業部管理）

春光・春光台地域包括支援センター長	早坂　祐司
大麻第一地域包括支援センター長	支倉　孝幸

【医療法人社団 元気会】

忠和クリニック

院　長		菱山　豊平
医師		近藤　益夫
医師		平　康二
看護課長		川瀬　彩加
事務長	兼務	森屋　太郎

【医療法人社団 曙】

札幌北１４条クリニック

院　長	川﨑　浩之
医師	田邊　達雄
看護課長	柴野　圭子
事務長	飯島　美抄子

介護老人保健施設おおぞら

施設長	入江　正
包括ケア部長	喜島　清美
包括ケア課長	齋藤　つぐみ
事務部長	八木澤　一朗
総務課長	浜守　宏明

一種事業所（ヘルスケア事業部管理）

ケアプラン相談センター健康会管理者	西　和人

【株式会社 健康会】

代表取締役社長		國本　正雄
取締役常務		杉田　亜佳美
取締役		國本　尚彦
取締役		本間　邦夫
執行役員		森屋　太郎
執行役員		廣田　幸二
執行役員		菊地　秀一
監査役		山越　一徳
一種事業所・管理者（ヘルスケア事業部管理）		
旭川エリア		
ヘルパーステーションあけぼの		石村　美幸
あけぼの訪問看護ステーション		鈴木　千晴
訪問看護ステーション忠和	兼務	川崎　由紀
ケアプラン相談センターあけぼの		福田　功
ケアサポートセンター		菊地　秀一
札幌エリア（担当ＡＭ）		
ヘルパーステーション札幌東		中島　克子
ヘルパーステーションおおあさ		伊藤　利栄子
訪問看護ステーション札幌東		捧　美香
訪問看護ステーションおおあさ		松橋　亜希子
ケアプラン相談センターおおあさ		安藤　眞由美
メディケアホーム環状通東		小野　志津
ドクター・ナーシングホーム元町		佐々木　菊代
カルナシア栄町		石井　勝義
苫小牧エリア		
ヘルパーステーションしらかば		平村　昇
訪問看護ステーションしらかば		後藤　祥子
ケアプラン相談センターしらかば		山本　浩之
療養通所介護センターしらかば		大場　千春子
二種事業所・管理者（ヘルスケア事業部管理）		
旭川エリア		
統括責任者		秋山　雄紀
グループホームひじり野	兼務	秋山　雄紀
グループホームひじり野		荒野　公介
グループホームあけぼの		佃　留利子
グループホームあけぼの		伊藤　敏幸
グループホームあけぼのⅡ		岩田　修一

グループホームあけぼのⅡ		加藤　美之
グループホームあけぼのⅢ		近江　奈保美
グループホームあけぼのⅢ		舘山　李之
グループホームあけぼのⅣ		菱沼　貴子
グループホームあけぼのⅣ		星　美智雄
統括責任者		畠　優雅子
メディケアホームあけぼのⅡ	兼務	畠　優雅子
メディケアホームあけぼの		對馬　哲也
メディケアホームあけぼのⅢ		西岡　千春
統括責任者		山内　祐樹
メディケアホーム忠和６条	兼務	山内　祐樹
メディケアホーム曙２条５丁目		鴻上　悟
メディケアホームちゅうわ		水野　裕貴
メディケアホームちゅうわⅡ		阿部　拓真
デイサービスセンターちゅうわ		畑　公博
札幌エリア		
統括責任者		深井　雄輝
グループホーム八軒中央	兼務	深井　雄輝
グループホーム八軒中央		和泉　幸枝
グループホーム厚別中央		和田　恵子
グループホーム厚別中央		渡辺　亜矢子
グループホーム伏古		蝦名　剛直
グループホーム伏古		佐久間　美紀
グループホーム新道東		星川　美樹
グループホーム新道東		工藤　由美
グループホームえべつ		曳地　直美
グループホームえべつ		高橋　尚吾
グループホーム若葉		横山　秀樹
グループホーム若葉		中家　真紀
統括責任者		藤田　則由
メディケアホーム川下Ⅲ	兼務	藤田　則由
メディケアホーム川下Ⅰ		穐本　麻菜
メディケアホーム川下Ⅱ	兼務	穐本　麻菜
メディケアホーム川下Ⅳ		田村　祥恵
メディケアホーム厚別中央		宮澤　美貴
メディケアホーム美園		堀江　裕介
デイサービスセンター東野幌		根本　恒三
統括責任者		増田　陽介
メディケアホーム元町開成	兼務	増田　陽介

メディケアホーム丘珠		鎌　田　裕　子
メディケアホーム栄町		斎　藤　　勲
メディケアホーム新道東		遠　藤　悦　朗
メディケアホーム元町北２６条		川　本　義　英
メディケアホーム元町中央		渡　邊　貴　広
メディケアホーム伏古		森　めぐみ
苫小牧エリア		
統括責任者		今　井　　学
グループホーム澄川	兼務	今　井　　学
グループホーム澄川		能　澤　典　江
グループホームしらかば		三　浦　拓　也
グループホームしらかば		坂　本　祐　子
グループホーム柏木		大　澤　道　枝
グループホーム柏木		横　内　美　咲
グループホーム輪西		大　沼　律　子
グループホーム輪西		安部　あゆみ
東京エリア		
統括責任者		井　上　　憲
デイサービスセンター押上	兼務	井　上　　憲
グループホーム大田蒲田		松　尾　大　介
グループホーム大田蒲田		大野　美和子
ケアハウス押上		阿具根　裕二
ケアハウス堀船		石　川　重　正
ケアハウス小竹向原		赤　城　　仁
ケアハウス大田蒲田		西　山　直　輝
ケアハウス練馬豊玉南		伊　藤　雅　英

【グループ本部】

理事長		國本　正雄
理事長室		
秘書	兼務	茂木　めぐみ
法人本部長		西野　泰史
経営企画部		
経営企画部長		佐藤　敬宏
経営企画課長		廣田　幸二
経営支援課長		小森　直也
主任		藤田　美瞳穂
スタッフ		澤田　猶子
スタッフ		菅　基喜
スタッフ		坂田　大地
スタッフ		松岡　祐美子
スタッフ		上西　和美
総務部		
総務部長		林　徳一
総務課長	兼務	林　徳一
マネージャー		茂木　めぐみ
人事部		
人事部長		三島　洋二
人事課長		坂田　靖裕
マネージャー		栗山　正寛
スタッフ		斉藤　由紀
スタッフ		大熊　俊太朗
厚生課長		板橋　泰人
財務部		
財務部長		木呂子　理朗
財務課長		但木　朋美
スタッフ		佐野　真由子
スタッフ		西原　真樹
スタッフ		森　理保子
管財課長		黒部　悟
マネージャー		土屋　昌紀
スタッフ（旭川）		桜庭　孝治
スタッフ（旭川）		尾花　司
スタッフ（札幌）		齋藤　勝己

ヘルスケア事業部

ヘルスケア事業部長		杉田　亜佳美
副部長		森屋　太郎
企画課長		米井　匡
マネージャー（事業企画）	兼務	米井　匡
マネージャー（採用戦略）		深水　護
マネージャー（採用戦略）		林　真吾
事業課長	兼務	森屋　太郎
東京エリア		
マネージャー（事業所管理）		増津　一郎
スタッフ		五十川　智恵
マネージャー（営業）	兼務	増津　一郎
札幌エリア		
マネージャー（事業所管理）		仁木　則彰
マネージャー（事業所管理）	兼務	林　真吾
マネージャー（事業所管理）		高橋　優樹
マネージャー（事業所管理）		渡邊　有祐
マネージャー（営業）		丹野　洋人
マネージャー（営業）		菅　正恵
旭川エリア		
マネージャー（事業所管理）		大泉　雅仁
マネージャー（事業所管理）		五十嵐　光治
マネージャー（営業）		深瀬　智之
マネージャー（営業）	兼務	五十嵐　光治
苫小牧エリア		
マネージャー（事業所管理）		山本　倫久
スタッフ		岡崎　ひとみ
マネージャー（営業）	兼務	山本　倫久
介護人材開発センター		
ＨＲＤ担当部長		本間　邦夫
顧　問		大友　幸恵
人材育成担当		
マネージャー		米田　保江
マネージャー		北原　加代子
社内研修担当		
マネージャー	兼務	本間　邦夫
係長		小林双美幸
スタッフ	兼務	川崎　由紀

学術論文

1996年

1. 國本正雄, 佐々木一晃:肛門疾患を有する症例における大腸疾患の拾い上げ, 日本大腸肛門病学会雑誌:49巻1号 p.69-72, 1996
2. 國本正雄, 和田正彦, 佐々木一晃:一開業医におけるインターネットの利用について, 日本プライマリ・ケア学会誌:19巻4号 p.308-310, 1996
3. 國本正雄:骨髄バンク支援運動にかかわって, 日本医事新報:3752号 p.63-64, 1996
4. 國本正雄:私のインターネット体験, 日本医事新報:3775号 p.78, 1996
5. 國本正雄, 川尻明, 佐々木一晃, 平田公一:小学生の便通とトイレに関する意識調査, 日本医事新報:3781号 p.49-51, 1996
6. 國本正雄:インターネット事始め　日常診療への活用, 日本医事新報:3788号 p.64-67, 1996
7. 國本正雄, 宮内義富, 川尻明:日刊医療福祉新聞の試み, 医学のあゆみ:179巻12-13号 p.933-938, 1996
8. 國本正雄:インターネットとO-157, 日本医事新報:3789号 p.67-68, 1996
9. 國本正雄:寒冷地の開業医院における取り組み, 寒地技術シンポジウム'96　寒地技術論文・報告集:12巻2号 p.931-936, 1996

1997年

10. 國本正雄, 和田正彦, 川尻明, 黒川憲一, 大友幸恵, 長峰加奈美, 佐々木一晃:肛門科専門医院における医療活動の展開, 日本プライマリ・ケア学会誌:20巻2号 p.162-164, 1997
11. 國本正雄, 佐々木一晃, 平田公一:内痔核の程度と便潜血反応について, 日本大腸肛門病学会雑誌:50巻8号 p.605-609, 1997

1998年

12. 國本正雄, 佐々木寿誉:高齢者および在宅療養者の便秘, JIM(総合医療誌ジム):8巻7号 p.594-595, 1998
13. 佐々木一晃, 國本正雄, 檜垣長斗, 佐々木寿誉, 笹谷美恵子, 平田公一:便秘を自覚する若年女性に対する食物繊維の効果, 臨牀と研究:75巻9号 p.1990-1991, 1998
14. Kunimoto M. Nishi M. Sasaki K.:The Relation Between Illegular Bowel Movement and The Lifestyle of Working Women, Hepato-gastroenterology:Vol.45 No.22 p.956-960, 1998

1999年

15. 國本正雄:ウンチのできる快感と癒し, 病院:58巻4号 p.366, 1999
16. 松浦和代, 國本正雄:中学生の便通と学校トイレに関する意識調査, 小児保健研究:58巻5号 p.599-602, 1999
17. 國本正雄:笑いと便秘, 病院:58巻5号 p.460, 1999
18. 松浦和代, 伊藤幸子, 國本正雄, 西基, 三宅浩次, 佐々木一晃:中学・高校女子の便通と食生活に関する調査, 臨牀と研究:76巻6号 p.1161-1163, 1999
19. 國本正雄:高齢患者の便秘改善のポイントはライフスタイルの把握, 看護実践の科学:24巻9号 p.101, 1999
20. 吉川智道, 佐々木一晃, 國本正雄, 平田公一:大腸内視鏡検査が誘因として考えられる虚血性大腸炎の2例, 日本消化器病学会雑誌:96巻12号 p.23-27, 1999

2000年

21. 國本正雄:在宅医療への挑戦, 在宅医療:25号 p.26-30, 2000
22. 尾形直三郎, 國本正雄, 太田秀樹:排尿・排便管理, 日本医事新報:3968号 p.37-42, 2000

23. 西基, 三宅浩次, 國本正雄：若年女性における顎関節症の疫学, 思春期学：18巻4号 p.382-386, 2000

24. 吉川智道, 國本正雄, 佐々木一晃, 平田公一：下部直腸癌局所切除2年2ヵ月後に粘膜下伸展を主体に局所再発した直腸進行癌の1例, 臨牀と研究：77巻11号 p.2132-2136, 2000

2001年

25. Sasaki K. Kunimoto M. Hirata K.：Relationship between the fecal occult blood test and benign anal disorders, Hepato-gastroenterology：Vol.48 No.38 p.445-447, 2001

2002年

26. 西基, 三宅浩次, 國本正雄：女子高校生の便秘に関与する因子, 小児保健研究：61巻3号 p.520-524, 2002

2003年

27. 國本正雄, 沖田憲司, 佐藤誠, 岩重弘文, 村上和正, 秦史壮, 平田公一：内痔核術後40日目の晩期出血の一例, 臨牀と研究：80巻7号 p.1311-1312, 2003

28. 國本正雄：開業医における在宅医療支援, 遠隔医療研究会： p.24-25, 2003

2004年

29. 國本正雄：トイレと健康, 空気調和・衛生工学：78巻8号 p.61-64, 2004

30. 國本正雄, 沖田憲司, 佐藤誠, 岩重弘文, 村上和正, 秦史壮, 平田公一：内痔核根治術術後出血症例の検討, 日本大腸肛門病学会雑誌：57巻3号 p.165-168, 2004

2005年

31. 安部達也, 岩重弘文, 佐藤誠, 村木専一, 國本正雄, 沖田憲司：グリセリン浣腸による外傷性直腸穿孔の1例, 臨牀と研究：82巻3号 p.494-496, 2005

32. 安部達也, 佐藤誠, 岩重弘文, 村木専一, 國本正雄, 沖田憲司, 木村鉄宣：肛門部に発生したSyringocystadenoma papilliferumの1例, 臨牀と研究：82巻4号 p.683-684, 2005

33. 安部達也, 佐藤誠, 岩重弘文, 村木専一, 國本正雄, 沖田憲司：完全直腸脱42例の検討, 臨牀と研究：82巻5号 p.845-847, 2005

34. 國本正雄, 安部達也：外科系疾患に遭遇したとき［外科系診療レベルアップ］肛門周囲膿瘍, JIM（総合医療誌ジム）：15巻6号 p.491-493, 2005

2006年

35. 鉢呂芳一, 村木専一, 國本正雄, 草野真暢, 安部達也：内痔核に対するジオン注硬化療法, 日本医事新報：4278号 p.67-70, 2006

36. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也, 草野真暢：新しい内痔核硬化療法　―ジオン注の臨床経験200症例―, 日本大腸肛門病学会雑誌：59巻6号 p.317-321, 2006

37. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一, 草野真暢, 沖田憲司：性別・加齢による肛門機能の変化, 日本医事新報：4291号 p.63-66, 2006

38. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一, 草野真暢, 沖田憲司：裂肛に対する用手肛門拡張術の検討, 日本大腸肛門病学会雑誌：59巻8号 p.431-435, 2006

39. 森屋太郎, 國本正雄：グループホーム入居者に対する包括的医療支援の実践：終末期医療に関する実践からの考察, 日本プライマリ・ケア学会誌：29巻3号 p.186-189, 2006

2007年

40. Hachiro Y. Kunimoto M. Abe T. Kitada M. Ebisawa Y.：Aluminum Potassium Sulfate and Tannic Acid Injection in the Treatment of Total Rectal Prolapse: Early Outcomes, Disease of the Colon and Rectum：Vol.50 No.11 p.1996-2000, 2007

41. Hachiro Y. Kunimoto M. Abe T. Muraki S. Kusano M.：Strangulation of internal hemorrhoids complicating sclerosing therapy with injection of OC-108 (Zione), Internationnal Journal of Colorectal Disease：Vol.22 No.7 p.851-852, 2007

42. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：内痔核に対するジオン注硬化療法と結紮切除術の比較検討 , 日本大腸肛門病学会雑誌：60巻4号 p.213-217, 2007

43. 稲垣光裕, 後藤順一, 鈴木茂貴, 安部達也, 國本正雄, 中村和正, 中野靖弘, 丹野誠志, 高後裕, 徳差良彦, 三代川斉之, 葛西眞一：膵臓の合併が疑われた自己免疫性膵炎の1例, 膵臓：22巻4号 p.479-487, 2007

44. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸注射液（ALTA）による内痔核硬化療法の副作用：直腸潰瘍について , 日本大腸肛門病学会雑誌：60巻6号 p.327-332, 2007

45. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：肛門機能の評価法, 外科：69巻9号 p.993-996, 2007

46. 前本篤男, 渡二郎, 上野伸展, 金野陽高, 石川千里, 伊藤貴博, 佐藤龍, 盛一健太郎, 岡本耕太郎, 田邊裕貴, 藤谷幹浩, 蘆田知史, 國本正雄, 高後裕, 斉藤裕輔：虚血性大腸炎から典型的な潰瘍性大腸炎へ進展した1例, IBD Reserch：1巻4号 p.297-303, 2007

2008年

47. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一, 鶴間哲弘：ALTA内痔核硬化療法施行後の再治療症例の検討　～ALTA療法は痔核根治術となりうるか～ , 日本大腸肛門病学会雑誌：61巻1号 p.11-15, 2008

48. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一, 海老澤良昭：内肛門括約筋形成術が奏効した便失禁の 1 例 , 臨牀と研究：85巻1号p.107-109, 2008

49. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一, 鶴間哲弘：ALTAによる直腸粘膜脱低侵襲治療 , 日本大腸肛門病学会雑誌：61巻2号 p.57-61, 2008

50. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：痔核に対する硬化療法 , 消化器外科：31巻3号 p.297-306, 2008

51. Abe T. Sato Y. Kunimoto M. Hachiro Y. Naito T.：Effect of Aging and Gender on Internal Anal Sphincter Thickness , ANTI-AGING MEDICINE：Vol.5 No.3 p.46-48, 2008

52. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：便失禁専門外来の試み , 日本大腸肛門病学会雑誌：61巻5号 p.247-253, 2008

53. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：肛門疾患に対する硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）硬化療法　―1000症例を経験して―, 日本大腸肛門病学会雑誌：61巻5号 p.216-220, 2008

54. 安部達也, 佐藤ゆりか, 國本正雄, 鉢呂芳一：便失禁外来の試みについて , 消化器科：46巻4号 p.634-639, 2008

55. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：内痔核に対するALTA療法, 手術：62巻10号 p.1453-1458, 2008

56. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：Whitehead anus の診断と治療 , 臨床外科：63巻11号 p.259-264, 2008

2009年

57. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄 ：各種排便異常に対するポリカルボフィルカルシウムの効果 , 消化器の臨床：12巻3号 p.328-331, 2009

58. 佐藤ゆりか, 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄 ：内痔核症例における肛門管粘膜下層の厚さに関する検討 , 日本大腸肛門病学会雑誌：62巻8号 p.502-505, 2009

59. 鈴木達也, 海老澤良昭, 千里直之, 山田理大, 浅井慶子, 長谷川公治, 星智和, 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄, 徳差良彦, 三代川斉之, 河野透, 葛西眞一：慢性裂肛様形態を呈した肛門管早期癌の1例, 北海道外科雑誌54巻1号：p.28-32,　2009

2010年

60. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄, 松田年：腹腔鏡下直腸固定術後に残存した直腸粘膜脱に硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸注射液硬化療法を施行した直腸脱の1例, 外科：72巻3号 p.329-332, 2010

61. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄 ：硬化療法剤ALTAと伸縮性ポリエステルテープを用いた直腸脱手術, 日本大腸肛門病学会雑誌：63巻5号 p.265-269, 2010

62. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対するポリカルボフィルカルシウムの効果, 日本大腸肛門病学会雑誌：63巻8号 p.483-487, 2010

63. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：VI. エビデンスに基づいた痔核根治術としてのALTA療法, 日本大腸肛門病学会雑誌：63巻10号 p.846-850, 2010

64. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：mFOLFOX6による難治性の悪心・嘔吐に新規制吐剤アプレピタントが奏効したS状結腸癌の1例, 癌と化学療法：37巻13号 p.2933-2935, 2010

2011年

65. 佐藤ゆりか, 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄, 鶴間哲弘：ALTA注投与部位の経時的変化に関する検討, 日本大腸肛門病学会雑誌：64巻3号 p.140-144, 2011

66. Hachiro Y. Kunimoto M. Abe T. Kitada M. Ebisawa Y. ：Aluminum Potassium Sulfate and Tannic Acid (ALTA) Injection as the Mainstay of Treatment for Internal Hemorrhoids, Surgery Today：Vol.41 p.806-809, 2011

67. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 村上雅則：痔核根治術におけるaluminum potassium sulfate and tannic acid（ALTA）療法併用の有用性, 外科：73巻6号 p.624-629, 2011

68. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対する肛門管電気刺激療法の検討, 日本大腸肛門病学会雑誌：64巻7号 p.449-454,

2011年

69. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 佐藤ゆりか, 鶴間哲弘：低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管切除・筋固定術, 日本大腸肛門病学会雑誌：64巻8号 p.487-491, 2011

70. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：安全で正確に確実な aluminum potassium sulfate and tannic acid（ALTA）療法を行うために, 外科：73巻9号 p.932-935, 2011

71. 神山剛一, 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄, 荒木靖三, 高野正博：便失禁の保存的治療法, 日本大腸肛門病学会雑誌：64巻10号 p.867-872, 2011

2012年

72. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 佐藤ゆりか, 鶴間哲弘：ホワイトヘッド手術後の直腸粘膜脱に対するALTA療法, 日本大腸肛門病学会雑誌：65巻1号 p.1-4, 2012

73. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 佐藤ゆりか, 鶴間哲弘：ALTA療法の肛門機能に与える影響, 日本大腸肛門病学会雑誌：65巻2号 p39-42, 2012

74. 安部達也, 佐藤ゆりか, 三上有香, 鉢呂芳一, 村上雅則, 國本正雄：便失禁に対する体外式磁気刺激療法の効果, 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌：28巻2号 p27-30, 2012

75. 國本正雄,：特集／肛門疾患のすべて 内痔核の硬化療法, 成人病と生活習慣病：42巻9号 p1063-1067, 2012

76. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 小串哲生, 鶴間哲弘：ALTA療法後における長期観察症例, 臨床肛門病学：4巻2号 p107-110, 2012

2013年

77. 上北敦子, 三島洋二, 吉野瑞穂, 川尻明, 國本正雄,：入院中の他医療機関受診による返戻の原因分析と防止策, 医業事務：20巻423号 p5-10, 2013

78. Abe T. Kono T. Hachiro Y. Kunimoto M. Furukawa H.：Risk Factors for Internal Anal Sphincter Dysfunction in Japanese Adults, Open Journal of Gastroenterology：3巻1号 p25-34, 2013

79. Abe T. Kunimoto M. Hachiro Y. Ebisawa Y. Hishiyama H. Abe S.：Open fistulectomy with sphincter fixation for anal fistula, Open Journal of Gastroenterology：3巻4号 p223-226,2013

80. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 菱山豊平, 海老澤良昭, 阿部清秀：内外痔核に対するEA法の有用性, 日本大腸肛門病学会雑誌：66巻8号 p601-604, 2013

81. 海老澤良昭, 千里直之, 岡山大志, 谷誓良, 河野透, 谷口雅彦, 古川博之：Bevacizumab 高用量の再投与にて長期生存を得た結腸癌大動脈周囲リンパ節転移の1例, 癌と化学療法：40巻10号 p1401-1404, 2013

82. 安部達也：原因別　便秘の対処法, Nutrition Care：6巻11号, p49-53, 2013

2014年

83. 海老澤良昭, 河野透, 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 古川博之：CEP（circular skin excision and purse string skin closure）法を用いた皮下良性腫瘍摘出術, 手術：68巻1号, p65-68, 2014

84. 安部達也,鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀, 國本正雄：直腸脱に対するALTA多点法, 外科：76巻6号, p597-600, 2014

85. 鉢呂芳一,安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平,：痔核に対する硬化療法, 消化器外科：37巻10号, p1515-1523, 2014

86. Abe T. Hachiro Y. Ebisawa Y. Hishiyama H. Murakami M. Kunimoto M.：Efficacy of Lubiprostone in Chronic Constipation: Clinical and Work Productivity Outcomes, Journal of Gastrointestinal & Digestive System：doi:10.4172/2161-069X.1000223. Online ahead of print., 2014

87. Abe T. Hachiro Y. Ebisawa Y. Hishiyama H. Kunimoto M.：Distal hemorrhoidectomy with ALTA injection: a new method for hemorrhoid surgery. International Surgery：99巻3号 p295-298, 2014

88. Abe T. Hachiro Y. Kunimoto M.：Combined aluminum potassium sulfate and tannic acid sclerosing therapy and anal encirclement using an elastic artificial ligament for rectal prolapse. Diseases of the Colon & Rectum：57巻5号, p653-657, 2014

89. Abe T. Hachiro Y. Ebisawa Y. Hishiyama H. Murakami M. Kunimoto M.：Efficacy of Itopride in the Prevention of Lubiprostone-Induced Nausea. Open Journal of Gastroenterology：4巻9号 p305-309, 2014

90. Fujiya M. Torimoto Y. Ito T. Ichikawa H. Yamaki T. Kitano Y. Ohhira M. Tanaka K. Ohara K. Abe T. Miyokawa N. Kohgo Y.：A cancer of unknown primary showing positive immunoreactions for intestinal epithelial markers. International Cancer Conference Journal：3巻2号 p65-71, 2014

91. 阿部清秀, 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：肛門周囲皮膚に発生した稀な基底細胞癌の 1 例, 日本大腸肛門病学会雑誌：67巻7号, p465-468, 2014

2015年

92. 國本正雄, 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 菱山豊平：「若手に伝えるヘモ・ヘルニア手術」痔瘻根治術, 北海道外科雑誌：60巻1号, p12-17, 2015

93. 安部達也：外科医からみた便秘治療　,日本医事新報：4746号, p26-30, 2015

94. 安部達也：ルビプロストンによる嘔気に対するイトプリドの予防効果, Pharma Medica：33巻3号, p80-82, 2015

2016年

95. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：慢性便秘症に対するルビプロストンの効果と副作用の検討, 日本大腸肛門病学会雑誌：69巻1号, p6-10. 2016

96. Abe T. Kunimoto M. Hachiro Y. Ebisawa Y. Hishiyama H. Murakami M. ：Calcium Polycarbophil in the Management of Fecal Incontinence, British Journal of Medicine and Medical Research：12巻9号, p1-7, 2016

97. 安部達也, 澤登拓, 國本正雄：在宅療養者の慢性便秘症に対する仙骨部鍼灸刺激の効果, 日本医事新報：4792号, p43-47, 2016

98. 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：痔瘻に合併した内痔核に対するALTA療法, 臨床肛門病学：8巻, p43-46, 2016

99. Abe T. Kunimoto M. Hachiro Y. Ebisawa Y.：Injection sclerotherapy using aluminum potassium sulfate and tannic acid in the treatment of symptomatic rectocele: A prospective case series, International Journal of Surgery：30号, p94-98, 2016

2018年

100. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：EA法（外痔核切除・内痔核ALTA）を用いた痔核根治治療, 手術（金原出版）：72号, p1771-1776, 2018

101. 安部達也：大腸肛門外科医が行う便秘治療の実態, 消化器診療：107号, p7-11, 2018

2019年

102. Abe T, Kunimoto M, Hachiro Y, Ohara K, Murakami M.：Clinical efficacy of Japanese herbal medicine daikenchuto in the management of fecal incontinence single-center, observational study. J Anus Rectum Colon：3巻4号, p160-166, 2019

103. 安部 達也, 鉢呂 芳一, 小原 啓, 稲垣 光裕, 菱山 豊平, 國本 正雄, 村上 雅則：慢性便秘症の治療 各論 (新規薬剤について), 日本大腸肛門病学会雑誌：72巻10号,p600-608, 2019

104. 安部達也：糞便塞栓を合併した排便困難型便秘の高齢患者. 漢方スッキリ方程式, 日本医事新報：4963号,p14,2019

105. 安部達也, 中島淳, 前田耕太郎：かかりつけ医のための便秘・便失禁診療Q & A：日本医事新報社,2019

106. 安部達也, 中島淳, ：便秘症の診かたと治し方：南江堂,2019

2020年

107. 安部達也：便排出障害の治療 -バイオフィードバック療法など-,消化器内科：2巻1号, p80-85,2020

108. 安部 達也, 鉢呂 芳一, 小原 啓, 稲垣 光裕, 菱山 豊平, 國本 正雄：脱肛に対する結紮切除術の適応と手技上の注意点, 外科：82巻10号, p1011-1016,2020

109. 安部 達也, 鉢呂 芳一, 國本 正雄：直腸知覚異常の診断と治療, medicina：57巻9号, p1567-1572,2020

110. 安部 達也, 鉢呂 芳一, 小原 啓, 稲垣 光裕, 菱山 豊平, 國本 正雄：便秘症診断における大腸通過時間検査法の臨床的検討, 日本大腸肛門病学会雑誌：73巻6号, p237-243, 2020

111. Abe T. Kunimoto M, Hachiro Y. Ohara K. Inagaki M. Murakami M.：Efficacy and safety of Elobixibat in elderly patients with chronic constipation A single-center, observational study.J Anus Rectum Colon:4巻3号, p122-127, 2020

2021年

112. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：専門医必携 新外科手術書 新しい手術手技のエッセンス,臨床雑誌外科：83巻5号,p535-540,2021

113. Abe T. Kunimoto M. Hachiro Y. Ohara K. Inagaki M. Murakami M.：Tolerance and efficacy of polyethylene glycol 4000 in elderly patients with chronic constipation: a retrospective, single-center, observational study. J Neurogastroenterol Motil：27巻3号,p419-425,2021

114. Abe T. Kunimoto M. Hachiro Y. Ohara K, Inagaki M. Hishiyama H. Murakami M.：Tolerance and efficacy of polyethylene glycol 4000 in elderly patients with chronic constipation: a retrospective, single-center, observational study. J Anus Rectum Colon：5巻3号,291-296,2021

115. Abe T. Kunimoto M. Hachiro Y. Ohara K. Inagaki M.：Injection of aluminum potassium sulfate and tannic acid in the treatment of fecal incontinence: a single-center observational study. Ann Coloproctol：doi:10.3393/ac.2021.00248.0035. Online ahead of print. 2021

116. Abe T. Kunimoto M, Hachiro Y. Ohara K. Inagaki M.：Efficacy and safety of anal encirclement combining the Leeds-Keio artificial ligament with injection sclerotherapy using aluminum potassium sulfate and tannic acid in the management of rectal prolapse: a single-center observational study. Ann Coloproctol：doi:10.3393/ac.2021.00731.0104. Online ahead of print.2021

117. Abe T. Kunimoto M. Hachiro Y. Ohara K. Inagaki M. ：Long-term outcomes of aluminum potassium sulfate and tannic acid sclerotherapy for prolapsed hemorrhoids: a single-center, observational study. Dis Colon Rectum：doi:10.1097/DCR.0000000000002284. Publish ahead of print.2021

学会発表等

1995年

1. 國本正雄, 佐々木一晃：肛門疾患を有する症例における大腸疾患の拾い上げ：日本大腸肛門病学会日本大腸肛門病学会 第50回総会, 1995.10, 東京

1996年

2. 國本正雄, ：勤労女性の便通と生活習慣の関連：日本大腸肛門病学会 第51回総会, 1996.8. 弘前

1997年

3. 佐々木一晃, 國本正雄, 平田公一：肛門疾患を有する症例における大腸がん検査での便潜血検査の問題：日本消化器外科学会 第49回総会, 1997.2, 福岡
4. 國本正雄：内痔核の程度と便潜血反応について：日本大腸肛門病学会 第52回総会, 1997.10, 浜松
5. 國本正雄：小学生の便通とトイレに関する意識調査：日本大腸肛門病学会 第52回総会, 1997.10, 浜松
6. 吉川智道, 國本正雄：肛門科におけるDay Surgeryの実情：旭川市医師会医学会, 1997.11, 旭川
7. 佐々木菊代, 吉川智道, 國本正雄：寝たきりをつくらない訪問看護：旭川市医師会医学会, 1997.11, 旭川
8. 本間邦夫, 吉川智道, 國本正雄：当院における在宅医療の取り組み：旭川市医師会医学会, 1997.11, 旭川
9. 岡部真由美, 國本正雄：当院における訪問栄養指導の取り組み：旭川市医師会医学会, 1997.11, 旭川
10. 小林明美, 國本正雄：あけぼの訪問看護ステーションの看護報告：旭川市医師会医学会, 1997.11, 旭川
11. 内藤貴文, 國本正雄, 佐々木寿誉：在宅医療における整形外科領域の取り組み：旭川市医師会医学会, 1997.11, 旭川
12. 國本正雄, 内藤貴文, 佐々木寿誉：肛門疾患5301例を母集団とする大腸疾患の拾い上げ：旭川市医師会医学会, 1997.11, 旭川
13. 國本正雄：在宅診療でのグループ診療の取り組み：第3回在宅ケアを支える全国診療所ネットワーク大会, 1997.11, 名古屋
14. 國本正雄, 佐々木寿誉：在宅診療でのグループ診療の取り組み：第4回日本グループ診療研究総会, 1997.11, 東京
15. 佐々木寿誉, 國本正雄：大腸肛門疾患と便潜血反応の相関について：日本臨床外科学会 第72回北海道支部例会, 1997.12, 札幌

1998年

16. 岡部真由美, 國本正雄, 内藤貴文：当院における訪問栄養指導の取り組み：北海道在宅ケア研究会総会, 1998.2, 札幌
17. 吉川智道, 國本正雄：大腸内視鏡検査が誘因となったと考えられる虚血性大腸炎の2例：日本消化器外科学会北海道支部大会, 1998.9, 札幌
18. 吉川智道, 國本正雄：株大腸内視鏡検査が誘因となったと思われる虚血性大腸炎の2例：日本大腸肛門病学会 第53回総会, 1998.10, 福岡
19. 國本正雄, 吉川智道：肛門疾患を有する症例に対する下部大腸内視鏡検査による大腸検診の重要性：日本大腸肛門病学会 第53回総会, 1998.10, 福岡

1999年

20. 内藤貴文, 原菜穂子, 西山礼子, 鹿野香代子, 石田真奈美, 平間みさ子, 國本正雄：整形外科無床クリニックにおける在宅医療の実践と問題点：日本在宅医療研究会 第10回学術集会, 1999.7, 札幌
21. 國本正雄, 吉川智道, 佐藤誠, 佐々木菊代, 村上和美, 斉藤孝枝, 松澤麻夏, 高橋奈々江, 本間邦夫：当法人における在宅ケアネットワークの構築：日本在宅医療研究会 第10回学術集会, 1999.7, 札幌
22. 大友幸恵, 永峰加奈美, 國本正雄, 佐々木菊代, 村上和美, 斉藤孝枝, 松澤麻夏：訪問看護における在宅患者の排便障害（便秘）のケアについて：日本在宅医療研究会 第10回学術集会, 1999.7, 札幌

23. 岡部真由美, 國本正雄, 鈴木啓二：当院における訪問栄養指導の取り組みについて：日本在宅医療研究会 第10回学術集会, 1999.7, 札幌

24. 國本正雄：小児の肛門疾患に学校トイレが与える影響：日本大腸肛門病学会北海道支部会, 1999.8, 札幌

25. 國本正雄, 松浦和代, 伊藤幸子, 西基, 佐々木一晃：中学・高校女子の便通と食生活に関する調査：日本大腸肛門病学会 第54回総会, 1999.10, 東京

26. 佐藤誠, 國本正雄, 佐々木一晃, 吉川智道, 平田公一：当院におけるDAY SURGERYの現況：日本大腸肛門病学会 第54回総会, 1999.10, 東京

27. 吉川智道, 國本正雄, 佐々木一晃, 平田公一：下部直腸癌局所切除2年2ヶ月後に粘膜下進展を主体に再発した直腸進行癌の1例：日本大腸肛門病学会 第54回総会, 1999.10, 東京

28. 村上和美, 斉藤孝枝, 佐々木菊代, 大友幸恵, 國本正雄：介護保険導入における訪問看護の位置付け　アンケート集計からの一考察：旭川市医師会医学会, 1999.11, 旭川

29. 柴野圭子, 梅津光香, 綱島加奈美, 大友幸恵, 佐藤誠, 國本正雄：クリニカルパス導入への取り組み：旭川市医師会医学会, 1999.11, 旭川

2000年

30. 國本正雄, 佐藤誠, 茂木泰一郎：学校トイレと小児肛門疾患の関係：日本大腸肛門病学会 第55回総会, 2000.11, 福岡

31. 佐藤誠, 國本正雄：当院における高齢者肛門手術症例の検討：日本大腸肛門病学会 第55回総会, 2000.11, 福岡

2001年

32. 佐藤誠, 國本正雄, 池上淳, 佐藤一博：当院で経験した直腸カルチノイドの4例：日本大腸肛門病学会 第22回北海道地方会, 2001.10, 札幌

33. 國本正雄, 佐藤誠, 池上淳：肛門科における患者満足度調査：日本大腸肛門病学会 第56回総会, 2001.10, 東京

34. 佐藤誠, 池上淳, 國本正雄：高齢者肛門手術症例の検討：日本大腸肛門病学会 第56回総会, 2001.10, 東京

35. 小沢恵介, 池上淳, 佐藤誠, 國本正雄：当院における下肢静脈瘤治療の現実：旭川市医師会医学会, 2001.11, 旭川

36. 池上淳, 佐藤誠, 國本正雄：乳癌発見の遅れを防ぐために　～病悩期間6ヵ月以上の乳ガン5症例を通じて～：旭川市医師会医学会, 2001.11, 旭川

2002年

37. 池上淳, 小沢恵介, 佐藤誠, 國本正雄：FEC702コース施行による骨髄抑制について：旭川医科大学関連病院症例発表会, 2002.3, 旭川

38. 本間邦夫, 大泉和聖, 川尻明, 和田正彦, 大友幸恵, 國本正雄：当院のCS活動（患者様満足度調査と職員問題意識調査）：第52回日本病院学会, 2002.6, 東京

39. 山崎富美枝, 小野敦子, 國本正雄, 岩重弘文, 佐藤誠：全大腸検査ならびにポリペクトミーに関するクリニカルパスの改善　～他部門との連携向上を目指して～：日本消化器内視鏡技師会 第64回総会, 2002.10, 横浜

40. 佐藤誠, 岩重弘文, 國本正雄：当院における高齢者肛門手術症例の検討：日本大腸肛門病学会北海道地方会, 2002.10, 札幌

41. 村上和正, 岩重弘文, 佐藤誠, 國本正雄：日帰りストリッピング手術の経験：日本臨床外科学会地方会, 2002.10, 札幌

42. 國本正雄, 佐藤誠, 池上淳, 岩重弘文, 村上和正：内痔核根治術後出血症例の検討：日本大腸肛門病学会 第57回総会, 2002.10, 横浜

43. 岩重弘文, 佐藤誠, 國本正雄：当院における直腸脱に対する手術成績の検討：日本大腸肛門病学会 第57回総会, 2002.10, 横浜

44. 佐藤誠, 國本正雄, 岩重弘文：当院で経験した直腸カルチノイドの6例：日本大腸肛門病学会 第57回総会, 2002.10, 横浜

45. 國本正雄, 佐藤誠, 岩重弘文, 沖田憲司：内痔核術後早期出血の要因についての検討：日本大腸肛門病学会 第57回総会, 2002.10, 横浜

2003年

46. 國本正雄：当院における地域連携と生活支援の取組み：日本プライマリ・ケア学会 第26回総会, 2003.6, 札幌

47. 本間邦夫, 川尻明, 和田正彦, 大友幸恵, 岩重弘文, 國本正雄：プライマリ・ケアにおける地域連携室のあり方：日本プライマリ・ケア学会 第26回総会, 2003.6, 札幌

48. 大泉和聖, 川尻明, 國本正雄：過疎農村地域における診療所の民間運営委託：日本プライマリ・ケア学会 第26回総会, 2003.6, 札幌

49. 國本正雄：開業医における在宅医療支援：第7回遠隔医療研究会, 2003.7, 旭川

50. Okita, K., Kunimoto, M., Sato, M., Iwashige, H., Murakami, K., Hata, F., Hirata, K.：Risk factors of the hemorrhage after hemorrhoidectomy：9th Asian Federation of Coloproctology (AFCP), 2003.11, 韓国／ソウル

2004年

51. 國本正雄, 沖田憲司, 佐藤誠, 岩重弘文：内痔核術後40日目の晩期出血の一例：日本大腸肛門病学会 第59回総会, 2004.11, 久留米

52. 佐藤誠, 岩重弘文, 國本正雄：痔瘻根治術で得られた組織中に蟯虫を認めた1症例：日本大腸肛門病学会 第59回総会, 2004.11, 久留米

53. 村木専一, 國本正雄, 岩重弘文, 佐藤誠, 安部達也, 笹嶋唯博：当院における下肢静脈瘤手術例（過去3年333肢）についての検討：日本臨床外科学会 第86回北海道支部例会, 2004.12, 札幌

2005年

54. 安部達也, 佐藤誠, 岩重弘文, 村木専一, 國本正雄, 木村鉄宣：肛門部に発生したSyringocystadenoma papillifeumの1例：北海道外科学会, 2005.2, 札幌

55. 國本正雄：グループホーム入居者に対する包括的医療支援の実践：北海道プライマリ・ケア研究会学術集会, 2005.3, 札幌

56. 安部達也, 國本正雄, 村木専一, 佐藤誠, 岩重弘文：完全直腸脱42例の検討：日本消化器外科学会 第60回総会, 2005.7, 東京

57. 安部達也, 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 鉢呂芳一：内痔核患者に対するジオン注の使用経験について：日本臨床外科学会北海道支部総会, 2005.7, 小樽

58. 安部達也, 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 鉢呂芳一：便失禁に対する低周波電気刺激療法の検討：第81回北海道外科学会, 2005.9, 旭川

59. 鉢呂芳一, 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 安部達也：ジオン注硬化療法による肛門治療：第81回北海道外科学会, 2005.9, 旭川

60. 安部達也, 國本正雄：肛門疾患に対するジオン注硬化療法の検討：日本消化器病学会北海道支部例会, 2005.10, 札幌

61. 安部達也, 鉢呂芳一, 村木専一, 草野真暢, 國本正雄：性別・加齢による肛門機能の変化：日本大腸肛門病学会北海道地方会, 2005.10, 札幌

62. 東海林安人, 平康二, 三井潤, 高橋修, 前山義博, 真名瀬博人, 中村豊, 菱山豊平, 村木専一, 國本正雄：成人仙骨部奇形腫の1例：日本大腸肛門病学会北海道地方会, 2005.10, 札幌

63. 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 安部達也, 鉢呂芳一：裂肛に対する用手肛門拡張術の検討：日本大腸肛門病学会 第60回総会, 2005.10, 東京

64. 安部達也, 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 鉢呂芳一：当院における便失禁専門外来の現況：日本大腸肛門病学会 第60回総会, 2005.10, 東京

65. 鉢呂芳一, 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 安部達也：ジオン注硬化療法後に発生した嵌頓痔核の一例：日本大腸肛門病学会 第60回総会, 2005.10, 東京

66. 鉢呂芳一, 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 安部達也：ジオン注硬化療法による内痔核の治療：日本臨床外科学会 第67回総会, 2005.11, 東京

67. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：肛門狭窄に対する用手肛門拡張術：大腸肛門病懇談会, 2005.12, 東京

68. 安部達也, 國本正雄, 村木専一, 草野真暢, 鉢呂芳一：裂肛に対する用手肛門拡張術の検討：日本臨床外科学会北海道支部総会, 2005.12, 札幌

2006年

69. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也：注射で治す直腸脱治療：第82回北海道外科学会, 2006.2, 札幌

70. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也：肛門疾患に対するジオン注硬化療法：内痔核治療法研究会 第1回総会, 2006.3, 東京

71. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也：内痔核症例に対する単独ジオン注硬化療法234症例の経験：第164回大腸肛門病懇談会, 2006.3, 東京

72. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：便失禁94例の検討：日本外科学会 第106回定期学術集会, 2006.3, 東京

73. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也：内痔核切除治療は必要か？手術療法に代わるジオン注硬化療法：日本外科学会 第106回定期学術集会, 2006.3, 東京

74. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一, 村木専一, 草野真暢：内痔核に対するジオン注硬化療法と結紮切除術の比較：日本消化器外科学会 第61回総会, 2006.7, 横浜

75. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭：直腸脱に対するジオン注硬化療法：日本消化器外科学会 第61回総会, 2006.7, 横浜

76. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一, 河野透, 海老澤良昭：潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘, 回腸肛門吻合術後の便失禁に対する肛門管低周波電気刺激療法の検討：第12回大腸肛門機能障害研究会, 2006.9, 東京

77. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：注射で治す直腸脱治療：日本外科学会北海道地方会, 2006.9, 札幌

78. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ジオン注内痔核硬化療法の適応について：日本外科学会北海道地方会, 2006.9, 札幌

79. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一, 中山尋基, 藤谷顕雄：内痔核に対するジオン注硬化療法と結紮切除術の比較検討：日本大腸肛門病学会 第61回総会, 2006.9, 弘前

80. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也：ジオン注を用いた直腸脱治療：日本大腸肛門病学会 第61回総会, 2006.9, 弘前

81. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：内痔核に対するジオン注硬化療法と結紮切除術の比較検討：第14回日本消化器関連学会 DDW-JAPAN2006, 2006.10, 札幌

82. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：ジオン注内痔核硬化療法施行後に再治療を要した11症例についての検討：日本大腸肛門病学会 第27回北海道地方会, 2006.10, 札幌

83. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也：ジオン注を用いた痔核治療：日本臨床外科学会 第68回総会, 2006.11, 広島

84. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：ジオン注内痔核硬化療法施行後に直腸潰瘍を発生した3症例についての検討：日本臨床外科学会 第90回北海道支部総会, 2006.12, 札幌

2007年

85. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：ジオン注内痔核硬化療法施行後に再治療を要した11症例についての検討：日本消化管学会 第3回総会学術集会, 2007.2, 東京

86. 鉢呂芳一, 國本正雄, 安部達也：ALTA内痔核治療後に発生する直腸潰瘍予防の工夫：内痔核治療法研究会 第2回総会, 2007.3, 東京

87. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：ALTA内痔核硬化療法の臨床報告：北海道プライマリ・ケア研究会 第45回学術集会, 2007.3, 札幌

88. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ジオン注内痔核硬化療法の中期成績とその適応について：日本外科学会 第107回定期学術集会, 2007.4, 大阪

89. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：ALTA内痔核硬化療法施行後の難治性直腸の1症例：日本消化器内視鏡学会 第73回総会, 2007.5, 東京

90. 國本正雄：内痔核の新しい治療～ALTA治療1,000症例からの知見～（特別講演）：第1回神奈川ALTA（ジオン）研究会, 2007.6. 横浜

91. 鉢呂芳一：ALTA硬化療法を用いた肛門治療：第1回千葉ALTA（ジオン）研究会, 2007.7, 千葉

92. 定塚和人：効率的な亜急性期病床運営を目指して：第7回北海道病院学会, 2007.7, 札幌

93. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：直腸粘膜脱に対するALTAによる治療経験：日本臨床外科学会 第91回北海道支部総会, 2007.7, 札幌

94. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 河野透, 葛西眞一：便失禁に対する後方内肛門括約筋形成術：日本消化器外科学会 第62回定期学術総会, 2007.7, 東京

95. 安部達也, 國本正雄, 内藤貴文：加齢による内肛門括約筋厚の変化：日本抗加齢医学会 第7回総会, 2007.7, 京都

96. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：腹腔鏡下直腸固定術後の粘膜脱に対して硫酸アルミニウム・タンニン酸（ALTA）による硬化療法を施行した完全直腸脱の1例：第13回北海道内視鏡外科研究会, 2007.7, 札幌

97. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄, 海老澤良昭：便失禁に対する後方内肛門括約筋形成術：第13回大腸肛門機能障害研究会, 2007.8, 東京

98. 國本正雄：内痔核の新しい治療～ALTA治療1,000症例からの知見～：東京ALTA（ジオン）研究会, 2007.9. 東京

99. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対する超音波メスを用いた内肛門括約筋形成術：第87回北海道外科学会, 2007.9, 札幌

100. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：肛門科受診患者における大腸癌の検討―とくに直腸診の有用性について―：日本消化器病学会 第49回大会, 2007.10, 神戸

101. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：便失禁専門外来の試み（パネルディスカッション）：日本大腸肛門病学会 第62回総会, 2007.11, 東京

102. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：腹腔鏡下直腸固定術後の粘膜脱に対してALTAによる硬化療法を施行した完全直腸脱の1例：日本内視鏡外科学会 第20回総会, 2007.11, 仙台

103. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA硬化療法を用いた内痔核治療（ビデオシンポジウム）：日本臨床外科学会 第69回総会, 2007.11, 横浜

104. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA硬化療法を用いた直腸脱治療（サージカルフォーラム）：日本臨床外科学会 第69回総会, 2007.11, 横浜

105. 國本正雄：内痔核に対する新しい治療法　～ALTA療法（ランチョンセミナー）：日本臨床外科学会 第69回総会, 2007.11, 横浜

2008年

106. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁専門外来の試み（シンポジウム）：日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 第25回総会, 2008.2, 札幌

107. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：ポリカルボフィルカルシウムの排便障害全般への応用（ワークショップ）：日本消化管学会 第4回総会学術集会, 2008.2, 大阪

108. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）単独内痔核治療の長期成績：内痔核治療法研究会 第3回総会, 2008.3, 東京

109. 國本正雄：在宅への可能性を広げる看護の力～立場を超えて語り合おう 安心してできる生活を目指して～医師としての立場（シンポジウム）：平成20年度 北海道看護協会看護研究学会, 2008.4, 札幌

110. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：内痔核に対する硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸(ALTA)硬化療法：日本外科学会 第108回定期学術集会, 2008.5, 長崎

111. 安部達也：便失禁の治療戦略（ランチョンセミナー）：日本外科学会　第108回定期学術集会, 2008.5, 長崎

112. 國本正雄, 安部達也, 内藤貴文：肛門機能に対して性別・加齢が与える影響：日本抗加齢医学会 第8回総会, 2008.6, 東京

113. 村田幸代, 鹿内輔, 森屋太郎, 大泉雅仁, 梅津光香, 本間邦夫, 二川安弘, 國本正雄：患者様への訪問活動～患者満足度の向上を目指して～：第58回日本病院学会, 2008.7, 山形

114. 國本正雄, ：内痔核に対する新しい治療法（ランチョンセミナー）：日本消化器外科学会　第63回総会, 2008.7. 札幌

115. 安部達也, 國本正雄, 鉢呂芳一：便失禁に対するポリカルボフィルカルシウムの有効性の検討：第14回大腸肛門機能障害研究会, 2008.9. 東京

116. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：ALTAを用いた内痔核硬化療法：日本大腸肛門病学会 第29回北海道地方会, 2008.9, 札幌

117. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）硬化療法を主体においた内痔核根治治療（ワークショップ）：日本大腸肛門病学会 第63回学術集会, 2008.10, 東京

118. 三島洋二, 中尾高久, 川尻明, 和田正彦, 安部達也, 鉢呂芳一, 二川安弘, 梅津光香, 國本正雄：事務職員による退院時サマリー作成支援：全日本病院学会 第50回東京大会, 2008.11, 東京

119. 國本正雄, 安部達也, 鉢呂芳一：ALTAを用いた内痔核硬化療法（ビデオシンポジウム）：日本臨床外科学会 第70回総会, 2008.11, 東京

2009年

120. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対するポリカルボフィルカルシウムの効果：日本消化管学会 第5回総会学術集会, 2009.2, 東京

121. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：伸縮性ポリエステルテープを用いた直腸脱手術：第90回北海道外科学会, 2009.2, 札幌

122. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）単独内痔核治療における再発症例の検討：内痔核治療法研究会 第4回総会, 2009.3, 東京

123. 部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄, 海老澤良昭, 千里直之, 河野透, 葛西眞一：転移性直腸癌に対するmFOLFOX6療法の検討：日本臨床腫瘍学会 第7回学術集会, 2009.3, 名古屋

124. 安部達也：便失禁の内科的治療～ポリカルボフィルカルシウムは有効か～（ランチョンセミナー）：日本消化器病学会　第95回総会, 2009.5.

125. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：加齢に伴う直腸肛門感覚の変化：日本抗加齢医学会 第9回総会, 2009.5, 東京

126. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：伸縮性ポリエステルテープを用いた直腸脱手術：日本消化器外科学会 第64回総会, 2009.7, 大阪

127. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：ALTA療法後の直腸肛門機能の検討：第15回大腸肛門機能障害研究会, 2009.9, 東京

128. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：機能性便失禁の病態に関する検討：日本消化器病学会 第51回大会, 2009.10, 京都

129. 鉢呂芳一：硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）硬化療法後の肛門機能に与える影響（ランチョンセミナー）：第1回北海道ジオン（ALTA）研究会, 2009.10, 札幌

130. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対する保存的治療の検討：日本大腸肛門病学会 第64回学術集会, 2009.11, 福岡

131. 佐藤ゆりか, 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：ALTA治療後の肛門管粘膜下層の厚みの変化に関する検討：日本大腸肛門病学会 第64回学術集会, 2009.11, 福岡

132. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）硬化療法を主体においた痔核治療（ビデオセッション）：日本臨床外科学会 第71回総会, 2009.11, 京都

133. 松倉理江：先輩看護師がした新人看護師へのモラルハラスメント体験の一事例：日本看護科学学会 第29回学術集会, 2009.11, 千葉

2010年

134. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA硬化療法の成績向上に向けて　～ALTA必要十分量を投与するために～：第1回臨床肛門病研究会, 2010.2, 東京

135. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA内痔核硬化療法は肛門機能改善に寄与するか？：内痔核治療法研究会 第5回総会, 2010.3, 東京

136. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：内痔核治療に対する硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）硬化療法の安全性について：日本外科学会 第110回定期学術集会, 2010.4, 名古屋

137. 阪本智子, 角柳麻希, 小川加奈, 岡本典子, 中山美世子, 松田久美子, 荒川明子, 吉野瑞穂, 松倉理江：当院肛門科外来看護における患者の意識調査　～患者満足度の評価～：北海道看護協会上川南支部教育委員会看護研究発表会, 2010.6, 旭川

138. 國本正雄：コミュニケーションセンターによる病棟患者訪問活動：日本プライマリ・ケア連合学会 第1回学術大会, 2010.6, 東京

139. 鉢呂芳一：ALTA療法を主体においた痔核根治治療：第2回中四国ジオン（ALTA）研究会, 2010.7. 広島

140. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：ALTA注投与部位の経時的変化の検討：第16回大腸肛門機能障害研究会, 2010.9, 東京

141. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対する体外式磁気刺激療法の効果：第16回大腸肛門機能障害研究会, 2010.9, 東京

142. 鉢呂芳一：くにもと病院におけるALTA療法の変遷～四段階注射法について考える～：日本大腸肛門病学会　第65回学術集会（イブニングセミナー）, 2010.11, 浜松

143. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対する薬物療法　―とくにポリカルボフィルカルシウムの有効性について―（ワークショップ）：日本大腸肛門病学会 第65回学術集会, 2010.11, 浜松

144. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA内痔核硬化療法を主体においた痔核治療（ワークショップ）：日本大腸肛門病学会 第65回学術集会, 2010.11, 浜松

145. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA療法を用いた直腸脱治療（ワークショップ）：日本大腸肛門病学会 第65回学術集会, 2010.11, 浜松

146. 佐藤ゆりか, 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：ALTA治療後の再発例における肛門管SM厚の変化に関する検討：日本大腸肛門病学会 第65回学術集会, 2010.11, 浜松

147. 宇野真喜子, 松倉理江：肛門科受診するまでの患者の気持ち～インタビューを通して～：日本看護科学学会 第30回学術集会, 2010.12, 札幌

2011年

148. 鉢呂芳一：ALTA療法の実際：第2回東海ALTA（ジオン）研究会, 2011.1. 名古屋

149. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 國本正雄：便失禁に対する体外式磁気刺激療法の効果：日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 第28回総会, 2011.2, 福岡

150. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 村上雅則：低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管切除・筋固定術における肛門機能への影響：第2回臨床肛門病研究会, 2011.2, 東京

151. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, ：低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管切除・筋固定術：第179回大腸肛門病懇談会, 2011.3. 東京

152. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 村上雅則：ALTA四段階注射法の最重要ポイント～筒型肛門鏡の使用とALTA投与直後のマッサージ～：第6回内痔核治療法研究会, 2011.3, 東京

153. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ホワイトヘッド肛門に対するALTA療法：日本外科学会 第110回定期学術集会, 2011.5. 東京（誌上開催）

154. 鉢呂芳一：痔核治療の実際　ALTA療法：日本大腸肛門病学会　第20回教育セミナー, 2011.5. 横浜

155. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：RomeⅢF3（機能性排便障害）の病態に関する検討：日本消化器病学会 第108回北海道支部例会, 2011.6, 札幌

156. 松倉理江, 三鍋好子：新人看護職員卒後臨床研修努力義務化への取り組み　～小規模病院での実施報告と今後の課題～：北海道看護協会上川南支部教育委員会看護研究発表会, 2011.6, 旭川

157. 黒部悟, 和田正彦, 川尻明, 國本正雄：EHP（電気ヒートポンプ式空調設備）採用による経費削減：第11回北海道病院学会, 2011.7, 札幌

158. 松坂省吾, 三島洋二, 中尾高久, 川尻明, 國本正雄：くにもと病院における未収金回収の方法と実際：第11回北海道病院学会, 2011.7, 札幌

159. 中尾高久, 三鍋好子, 川尻明, 國本正雄：小規模病院による看護師確保に向けての取り組み：第61回日本病院学会, 2011.7, 東京

160. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：内肛門括約筋不全に対するALTA療法の効果：第17回大腸肛門機能障害研究会, 2011.9, 東京

161. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：直腸肛門内圧検査パターンからみたROMEⅢF3（機能性排便障害）の病態に関する検討：第17回大腸肛門機能障害研究会, 2011.9, 東京

162. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：硬化療法剤ALTAを用いた直腸脱低侵襲療法：第95回北海道外科学会, 2011.9, 札幌

163. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：ALTAと痔核切除を組み合わせたコンビ・複合療法の検討：第95回北海道外科学会, 2011.9, 札幌

164. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：前側方低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管全摘＋括約筋固定術：日本大腸肛門病学会 第32回北海道地方会, 2011.10, 札幌

165. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：失敗しないALTA療法：日本臨床外科学会 第73回総会, 2011.11, 東京

166. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 村上雅則, 國本正雄：前側方低位筋間痔瘻に対する低侵襲な開放式瘻管全摘・括約筋固定術（シンポジウム）：日本大腸肛門病学会 第66回学術集会, 2011.11, 東京

167. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 村上雅則, 國本正雄：便失禁手術の低侵襲化を目的とした2つの経肛門管的アプローチ（ビデオシンポジウム）：日本大腸肛門病学会 第66回学術集会, 2011.11, 東京

168. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 村上雅則, 國本正雄：完全直腸脱に対するALTA多点法の効果と限界（ビデオシンポジウム）：日本大腸肛門病学会 第66回学術集会, 2011.11, 東京

169. 安部達也, 佐藤ゆりか, 鉢呂芳一, 村上雅則, 國本正雄：ALTAと痔核切除を組み合わせたコンビ・複合療法の検討（ビデオシンポジウム）：日本大腸肛門病学会 第66回学術集会, 2011.11, 東京

2012年

170. 國本正雄：当院におけるALTA療法の位置付けと適応：第3回東海ALTA（ジオン）研究会, 2012.1. 名古屋

171. 三上有香：当院でのストーマ保有者への支援の現状と課題：日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 第29回総会, 2012.2, 福島

172. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：前側方低位筋間痔瘻に対する低侵襲な開放式瘻管全摘＋括約筋固定術：第3回臨床肛門病研究会学術集会, 2012.2, 大阪

173. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管切除・筋固定術：第181回大腸肛門病懇談会, 2012.3, 東京

174. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA四段階注射法の最重要ポイント　－Z式肛門鏡の使用とALTA投与直後のマッサージ－：第6回内痔核治療法研究会総会, 2012.3, 東京

175. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA療法後の経過：第3回北海道ジオン（ALTA）研究会, 2012.3, 札幌

176. 安部達也, 鉢呂芳一, 國本正雄：直腸肛門機能障害に対するALTAの効果：第3回北海道ジオン（ALTA）研究会, 2012.3, 札幌

177. 三上有香：当院での肛門科看護への取り組み：日本創傷・オストミー・失禁管理学会　第21回学術集会, 2012.5, 神戸

178. 大泉雅仁, 久保麻奈美, 川尻明, 國本正雄：当院の退院支援の取り組みについて：第12回北海道病院学会, 2012.8, 札幌

179. 辻本由美子, 後藤和美, 丹羽沙織, 松倉理江,三鍋好子：摂食・嚥下障害に対するスタッフの意識調査：第12回北海道病院学会, 2012.6, 札幌

180. 川崎由紀, 石崎友紀, 松倉理江：初めての統合実習をした学生の思い～学生へのインタビューを通して～：日本看護学教育学会　第22回学術集会, 2012.8, 熊本

181. 安部達也, 鉢呂芳一, 小串哲生, 國本正雄：肛門内圧の性差と加齢変化：第18回大腸肛門機能障害研究会, 2012.8, 東京

182. 安部達也, 鉢呂芳一, 小串哲生, 國本正雄：便失禁に対する大建中湯の効果：第18回大腸肛門機能障害研究会, 2012.8, 東京

183. 小串哲生, 椿原宏典, 橋本潔, 中野正一郎, 安部達也, 鉢呂芳一, 村上雅則, 國本正雄：摂食・当クリニックにおける在宅療養患者の緊急入院について（ポスターセッション）：日本プライマリ・ケア連合学会　第3回学術大会, 2012.8, 福岡

184. 安部達也, 鉢呂芳一, 小串哲生, 國本正雄：便失禁に対する大建中湯の有効性に関する検討：第182回大腸肛門病懇談会, 2012.9, 東京

185. 三上有香：当院の褥瘡対策とその効果：第7回道北臨床創傷治癒研究会, 2012.9, 旭川

186. 三島洋二, 土江太一, 川尻明, 國本正雄：ICD-10部位不明・詳細不明コードの使用率減少に対する取り組み：第54回全日本病院学会, 2012.9, 横浜

187. 上北敦子, 三島洋二, 吉野瑞穂, 川尻明, 國本正雄：入院期間中の他院受診返戻に対する取り組み：第54回全日本病院学会, 2012.9, 横浜

188. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 小串哲生, 阿部清秀：ALTA療法後の経過（特別講演）：第4回九州・沖縄ジオン（ALTA）研究会, 2012.9, 福岡

189. 安部達也, 小串哲生, 鉢呂芳一, 菱山豊平, 國本正雄：省力化・効率化を目指した肛門科専門医育成システム(シンポジウム)：日本大腸肛門病学会　第67回学術集会, 2012.11, 福岡

190. 安部達也, 小串哲生, 鉢呂芳一, 菱山豊平, 國本正雄：直腸肛門内圧検査による便失禁と便排出障害型便秘の評価(パネルディスカッション)：日本大腸肛門病学会　第67回学術集会, 2012.11, 福岡

191. 阿部清秀, 小串哲生, 鉢呂芳一, 安部達也, 菱山豊平, 國本正雄：再発痔瘻癌に対する広範囲切除後の難治創を大臀筋皮弁により再建した症例（要望演題）：日本大腸肛門病学会　第67回学術集会, 2012.11, 福岡

192. 阿部清秀, 小串哲生, 鉢呂芳一, 安部達也, 菱山豊平, 國本正雄：右臀部を含めて全身に多発した慢性膿皮症のすべてにメッシュ植皮を施行した症例（ポスターセッション）：日本大腸肛門病学会　第67回学術集会, 2012.11, 福岡

193. 鉢呂芳一, 小串哲生, 安部達也, 菱山豊平, 國本正雄：LE法とE・ALTA法における術後疼痛に関する検討(パネルディスカッション)：日本大腸肛門病学会　第67回学術集会, 2012.11, 福岡

194. 安部達也, 小串哲生, 鉢呂芳一, 菱山豊平, 國本正雄：肛門管上皮の完全温存を目指したALTA併用痔核根治術（ビデオシンポジウム）：第12回北海道病院学会, 2012.11. 東京

2013年

195. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 小串哲生, 菱山豊平, 阿部清秀：ALTA療法を主体においた痔核治療：第4回臨床肛門病研究会学術集会, 2013.2, 東京

196. 鉢呂芳一：痔核の治療のガイドライン（シンポジウム）：第4回臨床肛門病研究会, 2013.2, 東京

197. 阿部清秀, 丹代功, 山本慶輝, 中桐僚子, 小幡雅彦, 安藤政克：2年半の間にメルケル細胞癌が右上眼瞼縁・左上眼瞼縁・右下眼瞼外側に次々と発生し、再発・転移のない稀な症例：日本形成外科学会　第85回北海道地方会, 2013.2, 札幌

198. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ALTA療法の長期観察症例（シンポジウム）：第7回内痔核治療法研究会, 2013.3, 東京

199. 鉢呂芳一：ALTA治療の現在、そして未来へ：第5回北海道ジオン（ALTA）研究会, 2013.3, 札幌

200. 阿部清秀, 丹代功, 山本慶輝, 中桐僚子：メルケル細胞癌は、感染症か？：日本形成外科学会　第56回学術集会, 2013.4, 東京

201. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄：ホワイトヘッド手術後の直腸粘膜脱症例に対するALTA療法（ポスターセッション）：日本外科学会　第113回定期学術集会, 2013.4, 福岡

202. 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 國本正雄：今までのALTA, これからのALTA（特別講演）：第8回 関西・北陸ALTA研究会, 2013.8, 大阪

203. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：慢性便秘症に対するルビプロストンの効果：第19回日本大腸肛門機能障害研究会, 2013.9, 東京

204. 安部達也：新しい慢性便秘症治療薬　アミティーザの使用経験：第19回日本大腸肛門機能障害研究会, 2013.9, 東京

205. 海老澤良昭, 安部達也, 鉢呂芳一、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：肛門部悪性腫瘍　知っておくべき疾患（ランチョンセミナー）：日本大腸肛門病学会　第34回北海道地方会, 2013.9, 札幌

206. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：内外痔核症例に対するEA法の経験：日本大腸肛門病学会　第34回北海道地方会, 2013.9, 札幌

207. 野村千春：介護施設職員の糖尿病をもつ利用者への支援の現状と糖尿病療養指導士への期待（口述）：第18回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2013.9, 横浜

208. 菱山豊平：外科医がカテーテルアブレーションを経験して：抗凝固治療カンファレンス2013, 2013.11, 旭川

209. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：内肛門括約筋不全に対する低侵襲治療：日本大腸肛門病学会　第68回学術集会, 2013.11,東京

210. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：痔核根治術におけるEA法の有用性：日本大腸肛門病学会　第68回学術集会, 2013.11, 東京

211. 阿部清秀 安部達也, 鉢呂芳一、國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平：肛門周囲に発生した稀な基底細胞がんの1例：日本大腸肛門病学会第68回学術集会, 2013.11, 東京

212. 鉢呂芳一. 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管切除・筋固定術における瘻管後壁温存（要望演題）：日本臨床外科学会　第75回総会2013.11. 名古屋

2014年

213. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：肛門括約筋固定を付加した開放式痔瘻根治術： 第5回臨床肛門病研究会学術集会2014.2. 東京

214. 小野寺有香, 安部達也：水溶性食物繊維を用いた機能性便秘を有する高齢者の排便コントロール： 第31回日本ストーマ•排泄リハビリテーション学会総会2014.2. 仙台

215. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：ALTA療法後に発症した痔瘻はALTAの合併症と考えるべきか否か？：第187回大腸肛門病懇談会 2014.3. 東京

216. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：ALTA療法の行き着くところ：第8回内痔核治療法研究会 2014.3. 東京

217. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：重症内痔核症例に対するALTA療法の成績：第5回北海道ALTA研究会 2014.3. 札幌

218. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：根治性と低侵襲性を両立させたALTA併用遠位側痔核切除(EA法)の治療成績：第114回日本外科学会定期学術集会 2014.4.京都

219. 阿部清秀, 丹代功, 山本慶輝, 森本篤志、戸田皓大、田村明美：肛門周囲に発生した基底細胞癌（BCC)の3例：第57回日本形成外科学会総会•学術総会 2014.4.長崎

220. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：特別企画The脱肛：第51回北陸肛門疾患懇談会 2014.4.金沢

221. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：最新の便秘治療～慢性便秘症治療薬ルビプロストンの効果～（ランチョンセミナー）：第87回日本消化器内視鏡学会総会 2014.5.福岡.

222. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：ALTA療法（併用含む）の長期成績：第6回中四国ALTA研究会 2014.7. 岡山

223. 野村千春, ：訪問看護での糖尿病療養指導士の役割～家・在宅でしか会えない その人らしい姿と向き合って～：第18回道北地区糖尿病教育・看護研究会 2014.8. 旭川

224. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：内肛門括約筋機能低下の危険因子の検討：第20回大腸肛門機能障害研究会 2014.9.東京

225. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：直腸瘤に対するALTA療法の効果：第20回大腸肛門機能障害研究会 2014.9.東京

226. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：ALTAを用いた併用療法～EA法について～：第35回六甲肛門疾患研究会 2014.10.神戸

227. 安部達也 , 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：慢性便秘症に対するルビプロストンの効果：第56回日本消化器病学会大会 2014.10.神戸

228. 安部達也 , 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：ルビプロストンによる嘔気に対するイトプリドの予防効果：第5回Japan Gut Forum 2014.10.東京

229. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：痔核～ALTAのすべて～：第69回日本大腸肛門病学会学術集会 2014.11.横浜

230. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平, 阿部清秀：痔核治療におけるALTA療法の功罪：第69回日本大腸肛門病学会学術集会 2014.11.横浜

231. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：ALTA硬化療法と人工靭帯によるThiersch法を組み合わせた直腸脱治：第69回日本大腸肛門病学会学術集会 2014.11.横浜

232. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：便失禁に対するポリカルボフィルカルシウムの効果：第69回日本大腸肛門病学会学術集会 2014.11.横浜

233. 海老澤良昭 , 安部達也, 鉢呂芳一、菱山豊平, 阿部清秀、國本正雄：肛門括約筋固定を行った開放式痔瘻手術症例の検討：第69回日本大腸肛門病学会学術集会 2014.11.横浜

234. 小野寺有香, 安部達也、宇野真喜子、田居美樹、新野さゆり、池邉明子、阿部清秀、國本正雄：地域の高齢者とその家族を対象とした排便教室の試み：第69回日本大腸肛門病学会学術集会 2014.11.横浜

235. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 國本正雄：根治性と肛門機能温存を両立させた開放式痔瘻根治術：第76回日本臨床外科学会総会 2014.11.福島

236. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭、菱山豊平, 國本正雄：外痔核切除と内痔核硬化療法を組み合わせたEA法の実際：第76回日本臨床外科学会総会 2014.11.福島

2015年

237. 國本正雄, 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 菱山豊平：痔瘻根治術：平成26年度　第22回日本外科学会生涯教育セミナー（北海道地）2015.1.札幌

238. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：便秘の外科治療（教育講演）：第88回　北海道腸疾患研究会 2015.1.札幌

239. 海老澤良昭 , 鉢呂芳一, 安部達也, 菱山豊平, 國本正雄：肛門括約筋固定を行った開放式痔瘻手術症例の検討：第6回臨床肛門病研究会学術集会 2015.2.東京

240. 石塚由里恵, 平沼智美, 石田美智代, 蔦原真弓：肛門科手術ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝDVDの作成と評価：北海道看護協会上川南支部看護研究発表会 2015.2.旭川

241. 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：EA法を追求する： 第9回内痔核治療法研究会総会2015.3.東京

242. 若井俊明：Intrapartum Fetal Surveillance OB Case(VTE)： ALSO Provider Course 2015.3. Pittsburgh, Pennsylvania, USA

243. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平：ALTA後の再手術症例：第6回北海道ジオン（ALTA）研究会 2015.3.札幌

244. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：高齢・ハイリスク直腸脱患者に対するALTA-Thiersch法の検討：第115回日本外科学会定期学術集会 2015.4.名古屋

245. 小野寺有香, ：協同的関係が大腸刺激性下剤長期連用患者の主体的な排便習慣改善を可能にした一症例：第24回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 2015.4.千葉

246. 新野さゆり, 中南志津乃, 吉野瑞穂：目標管理におけるA病院看護師の個人目標の分析：北海道看護協会看護研究学会 2015.6.札幌

247. 柴野圭子, 中南志津乃, 新野さゆり：効果的アプローチによる看護倫理に対する意識の変化～実写版看護倫理ニュースを発行して～：北海道看護協会看護研究学会 2015.6.札幌

248. 若井俊明：Intrapartum Fetal Surveillance First Trimester Complications Shoulder dystocia： ALSO Provider Course 2015.7. Ann Arbor, Michigan, USA

249. 海老澤良昭, 安部達也, 鉢呂芳一, 菱山豊平, 國本正雄：前側方の単純痔瘻に対する筋固定を付加した痔瘻根治術の治療成績(一般演題ミニオーラル)：第70回日本消化器外科学会総会 2015.7.静岡

250. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄, 澤登拓：在宅療養者の慢性便秘症に対する仙骨部鍼灸刺激の効果：第21回　大腸肛門機能障害研究会 2015.9.東京

251. 鶴間哲弘, 平田公一, 國本正雄, 安部達也, 樽見研, 石山元太郎, 石山勇司：北海道地区におけるSacral Nerve Stimulationの現状：第21回大腸肛門機能障害研究会 2015.9.東京

252. 宇野真喜子, 笹谷真理, 大島洋美, 小野寺有香, 新野さゆり：肛門科病院で行う患者向け排便教室の取り組み：第57回全日本病院学会 2015.9.札幌

253. 半田菜摘, 柴野圭子, 中南志津乃, 新野さゆり：効果的なアプローチによる看護倫理に対する意識の変化～写真を用いた看護倫理ニュースを発行して～：第57回全日本病院学会 2015.9.札幌

254. 新野さゆり, 中南志津乃, 吉野瑞穂：A病院看護師の個人目標の分析とキャリア：第57回全日本病院学会 2015.9.札幌

255. 中澤忍：抗がん剤による副作用対策パンフレットの作成を通して実施したスタッフ教育：第57回全日本病院学会 2015.9.札幌

256. 小森直也, 川尻明, 中尾高久：当院における地域包括ケア導入への取り組みとその運用について：第57回全日本病院学会 2015.9.札幌

257. 藤田順一, 三島洋二, 川尻明：地域包括ケア病床の稼働報告について：第57回全日本病院学会 2015.9.札幌

258. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：直腸肛門内圧パターンからみた便排出障害の病態に関する検討：第191回　大腸肛門病懇談会 2015.9.東京

259. 若井俊明：The Early Periodic Screening, Diagnosis and Treatment(EPSDT)Screenings Research Mixed Methods Research Embedded Design：Mixed Methods International Research Association Regional Conference 2015.9. Ibaraki,Osaka,JAPAN

260. 野村千春：糖尿病をもつ認知症高齢者が家に居続けられる理由、居続けられない理由の一考察：第20回北海道糖尿病看護研究会 2015.10.札幌

261. 小野寺有香：旭川市における介護サービス担当者のためのストーマケア講習会の実際：日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会　第32回北海道ストーマリハビリテーション研究会学術集会 2015.11.札幌

262. 安部達也：排便障害治療における漢方の役割（ランチョンセミナー）：　第70回日本大腸肛門病学会学術集会2015.11.名古屋

263. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：Ⅱ型痔瘻に対する手術の標準化を目指した切開開放＋括約筋固定術（シンポジウム）：　第70回日本大腸肛門病学会学術集会2015.11.名古屋

264. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：便失禁の病態に関する検討（パネルディスカッション）：　第70回日本大腸肛門病学会学術集会2015.11.名古屋

265. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：便排出障害の病態に関する検討（ワークショップ）：　第70回日本大腸肛門病学会学術集会2015.11.名古屋

266. 安部達也, 鉢呂芳一, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：日本独自の直腸脱手術Gant-三輪-Thiersch法を改良したALTA-Thiersch法：　第70回日本大腸肛門病学会学術集会2015.11.名古屋

267. 鉢呂芳一, 安部達也, 國本正雄, 海老澤良昭, 菱山豊平：痔核に対するEA法：　第70回日本大腸肛門病学会学術集会2015.11.名古屋

268. 鶴間哲弘, 平田公一, 安部達也, 國本正雄, 樽見研, 石山元太郎, 石山勇司：北海道地区における便失禁に対する仙骨神経刺激療法（SNM）の現状：第70回日本大腸肛門病学会学術集会2015.11.名古屋

269. 新野さゆり：地域包括支援病棟の立場から（ポスターセッション）：北海道地域医療研究会 2015.11.札幌

270. 海老澤良昭, 安部達也, 鉢呂芳一, 菱山豊平, 國本正雄：完全直腸脱に対する経会陰式手術(Altemeier、Delorme)症例の検討：第77回日本臨床外科学会総会 2015.11.福岡

2016年

271. 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：痔瘻に合併した内痔核に対するALTA療法：第7回臨床肛門病研究会学術集会 2016.2.東京

272. 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：内外痔核症例に対するEA法（外痔核切除・内痔核 ALTA）の治療成績（ポスターセッション）：第116回日本外科学会定期学術集会 2016.4.大阪

273. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 海老澤良昭, 菱山豊平, 村上雅則, 國本正雄：直腸肛門内圧データに基づいたRomeⅢ分類F3（機能性排便障害）の病態解析と治療：第102回日本消化器病学会総会2016.4.東京

274. 鉢呂芳一：進化する痔核の硬化療法（応用編）：日本大腸肛門病学会　第25回教育セミナー 2016.5.東京

275. 若井俊明：海外で活躍する医師～アメリカの家庭医療研修～：日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

276. 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：ALTAを主体に置いた内痔核治療の10年（シンポジウム）：第10回内痔核治療法研究会総会 2016.7.東京

277. 鉢呂芳一, 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：内肛門括約筋機能不全に対する大建中湯の効果Efficacy of the Japanese Herbal Medicine Daikenchuto for Intermal Anal Sphincter Dysfunction：第71回日本消化器外科学会総会 2016.7.徳島

278. 若井俊明：First Trimester Complications Shoulder dystocia Intrapartum Fetal Surveillance：ALSO Provider Course 2016. 7. Ann Arbor, Michigan, USA

279. 鉢呂芳一, 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：低用量レゴラフェニブにより長期生存が得られた転移性大腸癌の1例A long survival case of metastatic colorectal cancer treated with low dose regorafenib monotherapy：第14回日本臨床腫瘍学会学術集会 2016.7.神戸

280. 安部達也, 國本正雄：便失禁の診断と治療「内肛門括約筋機能低下による便失禁に対する大建中湯の効果」：第22回大腸肛門機能障害研究会 2016.9.東京

281. 安部達也：慢性便秘症治療の新しい潮流「外科から見た慢性便秘診療の問題点～特に直腸肛門機能異常について」：第18回日本神経消化器病学会 2016.9.札幌

282. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄, 村上雅則：慢性便秘症患者を対象としたルビプロストン投与時の悪心に対するイトプリドの有用性：第37回日本大腸肛門病学会北海道支部例会 2016.10.札幌

283. 鶴間哲弘（永山稔, 太田盛道, 田山慶子, 内山素伸, 平田公一, 石山元太郎, 西尾昭彦, 川村麻衣子, 石山勇司, 樽見研, 丸山芳朗, 佐藤誠, ）安部達也, 國本正雄, ：当科における便失禁治療・仙骨神経刺激療法（SNM）の現状：第37回日本大腸肛門病学会北海道支部例会 2016.10.札幌

284. 鉢呂芳一：低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管切除・筋固定術：第４回 直腸肛門疾患青年懇談会 2016.10.東京

285. 海老澤良昭, 安部達也, 鉢呂芳一, 菱山豊平, 村上雅則, 國本正雄：高齢者の完全直腸脱に対する会陰式手術(Altemeier、Delorme)症例の検討：JDDW2016　第58回日本消化器病学会大会 2016.11.神戸

286. Tatsuya Abe, Taku Sawanobori, Masao Kunimoto：Efficacy of Acupuncture and Moxibustion Therapy in the Management of Chronic Constipation in Home Care Patient（在宅治療者の慢性便秘症に対する仙骨部鍼灸刺激の効果）：世界鍼灸学会連合会学術大会 2016.11.茨城

287. 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：EA法（外痔核切除・内痔核ALTA）導入前後における内痔核治療の臨床成績：第71回日本大腸肛門病学会 2016.11.三重

288. 海老澤良昭, 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：高齢者完全直腸脱に対する会陰式手術(Altemeier、Delorme)症例の検討：第71回日本大腸肛門病学会 2016.11.三重

289. 小原啓, 鉢呂芳一, 安部達也, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：低位筋間痔瘻に対する開放式瘻管切除・筋固定術の有用性Open fistulectomy with sphincter fixation for low intersphincteric anal fistula（パネルディスカッション２）：第71回日本大腸肛門病学会 2016.11.三重

290. 海老澤良昭, 鉢呂芳一, 小原啓, 國本正雄：高齢女性の完全直腸脱に対する術式選択（特別演題 ワークショップ12 直腸脱－病症から考える術式選択）：第78回日本臨床外科学会総会 2016.11.東京

291. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 海老澤良昭, 菱山豊平, 國本正雄：肛門管上皮の可及的温存を目指したALTA併用痔核根治術：第195回大腸肛門病懇談会 2016.12.東京

2017年

292. 安部達也, 鉢呂芳一,小原啓, 菱山豊平, 國本正雄, 上田知比路, 山内歌子：直腸肛門内圧パターンからみた便排出障害に対するバイオフィードバック療法の適応と成績：第34回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 2017.2.愛知

293. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：痔核出血に対する芎帰膠艾湯の効果：第5回 直腸肛門疾患青年懇談会 2017.4.福岡

294. 宇野真喜子, 新野さゆり：「看護を語る研修」に参加した看護師の認識：北海道看護協会看護研究学会 2017.6. 札幌

295. 小原啓, 安部達也, 鉢呂芳一, 菱山豊平, 國本正雄：「EA法の適応と選択」：第11回　内痔核治療法研究会総会 2017.7.東京

296. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA療法後再発例に対する再手術術式：第11回　内痔核治療法研究会 2017.7.東京

297. 安部達也：周術期支える漢方を科学する!-- その基礎と臨床 --便失禁に対するTJ－100大建中湯の効果：第72回　日本消化器外科学会総会 2017.7.石川

298. 中南志津乃, 新野さゆり：病棟における看護提供体制変更への取り組み：北海道病院学会 2017.7. 札幌

299. 新野さゆり：セッション9：教育・研修　演題番号39～43：北海道病院学会 2017.7. 札幌

300. 新野さゆり：病院看護師の退院後訪問指導を受けた施設管理者の認識：日本看護管理学会2017.8. 横浜

301. 鉢呂芳一：ALTA単独治療の実際：第6回 直腸肛門疾患青年懇談会 2017.9. 熊本

302. 國澤聖子, 新野さゆり：退院後訪問指導に行った病院看護師の認識： 日本看護研究学会-看護管理--2017.10. 札幌

303. 安部達也： 大腸機能性疾患の病態,診断と治療の現状と展望 直腸肛門内圧データに基づいた機能性排便障害（RomeIV F3）の病態解析（シンポジウム）：第72回　日本大腸肛門病学会学術集会 2017.11.福岡

304. 安部達也：診療ガイドラインに基づく最新便秘治療 ：第72回　日本大腸肛門病学会学術集会 2017.11.福岡

305. 安部達也, 鉢呂芳一、小原啓、菱山豊平、國本正雄：慢性裂肛に対する肛門拡張術～肛門径測定による標準化と肛門内圧による効果判定（一般口演）：第72回　日本大腸肛門病学会学術集会 2017.11.福岡

306. 安部達也, 鉢呂芳一、小原啓、菱山豊平、國本正雄、上田知比呂、内山歌子：肛門機能評価の諸問題　排便障害診療における直腸バルーン排出検査の方法と臨床的意義（パネルディスカッション）：第72回　日本大腸肛門病学会学術集会 2017.11.福岡

307. 鉢呂芳一：肛門機能評価の諸問題　痔核症例に対するEA法（外痔核切除・内痔核ALTA）の成績：第79回　日本臨床外科学会総会 2017.11.東京

2018年

308. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：ALTAを主体に置いた内痔核治療：第2回臨床肛門病学会 2018.3東京

309. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：EA法（外痔核切除・内痔核ALTA）を用いた痔核根治治療（ポスター）：第118回日本外科学会 2018.4.東京

310. 奈良昭子, 瀬戸弾, 斉藤多恵：A病棟看護師のコミュニケーションについての一考察～アサーティブ傾向測定ツールを用いての検討～：北海道病院学会2018.6. 札幌

311. 橋本照美, 中西淑恵, 小西彩：退院後訪問指導から学ぶ在宅医療環境と退院支援：北海道病院学会2018.7. 札幌

312. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA療法の長期成績：第1回北海道ALTA研究会 2018.6.札幌

313. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA単独治療例の10年経過症例：第12回内痔核治療法研究会 2018.7.東京

314. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：LE＋ALTA法からEA法（外痔核切除・内痔核ALTA）へ：第12回内痔核治療法研究会 2018.7.東京

315. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 國本正雄：便失禁に対する肛門管電気刺激療法：第4回　大腸肛門障害研究会 若手の会 2018.9.東京

316. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 國本正雄：排便困難型便秘に対するリナクロチドの効果：第24回 大腸肛門障害研究会 2018.9.東京

317. 鉢呂芳一, 安部達也、小原啓、菱山豊平、国本正雄：痔核治療におけるEA法（外痔核切除・内痔核ALTA）の適応判断：第73回日本大腸肛門病学会 2018.11.東京

2019年

318. 蔦原真弓, 徳光佳奈, 福沢香緒里：病院と在宅をつなぐ患者が見える情報提供のあり方：北海道看護協会上川南支部看護研究発表会 2019.2. 旭川

319. 安部達也, 松本成史：高齢者におけるダブルインコンチネンス症例の検討：第36回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 2019.2 大阪

320. 安部達也：高齢者の排便障害の特徴とその対処法： 東北ストーマリハビリテーション研究会　特別講演2019.3. 宮崎県大崎

321. 安部達也, 鉢呂芳一、小原啓、稲垣光裕、國本正雄：低位筋間痔瘻に対する瘻管開放+括約筋固定術：第3回臨床肛門病学会 2019.3. 東京

322. 安部達也, 鉢呂芳一、小原啓、稲垣光裕、國本正雄：内肛門括約筋の厚さに関する検討～性別・年齢、病態による変化について～：第9回直腸肛門疾患青年懇談会 2019.4.奈良

323. 橋本照美, 中西淑恵, 小西彩：身体拘束を体験した看護師のケアについての意識調査～最小限にするために必要なことは～：北海道看護協会看護研究学会 2019.4. 札幌

324. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA療法後に発生する発熱に関する考察：第2回北海道ALTA研究会 2019.5.札幌

325. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：EA法を主体に置いた痔核治療：第202回大腸肛門病懇談会 2019.5.東京

326. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA療法後に発生した発熱症例の検討：第13回内痔核治療法研究会 2019.7. 東京

327. 安部達也：排便困難型便秘に対するエロビキシバット水和物錠の効果：第25回　大腸肛門機能障害研究会 2019.7. 東京

328. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 國本正雄：根治性と機能温存を両立した瘻管開放・括約筋固定術：第74回　日本大腸肛門病学会総会 2019.10. 東京

329. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 國本正雄：肛門径測定によって標準化した肛門拡張術：第74回　日本大腸肛門病学会総会 2019.10. 東京

330. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 國本正雄：テンションフリーにこだわったALTA併用痔核根治術：第74回　日本大腸肛門病学会総会 2019.10. 東京

331. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：痔核手術～結紮切除vs ALTA治療：第74回　日本大腸肛門病学会総会 2019.10. 東京

332. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 國本正雄：ALTA３段階注射法のすゝめ：第10回　直腸肛門疾患青年懇談会 2019.10. 東京

333. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 國本正雄：排便困難型便秘に対するエロビキシバット水和物錠の効果：第40回　日本大腸肛門病学会北海道地方会 2019.11. 札幌

334. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：坐骨直腸窩痔瘻に対する括約筋固定を併用した開放術式：第204回 大腸肛門病懇談会 2019.12. 東京

2020年

335. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA療法後の発熱は回避できるか?：第41回日本大腸肛門病学会北海道支部例会2020.11. 札幌

336. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：便秘症診断における大腸通過時間検査法の臨床的検討：第41回日本大腸肛門病学会北海道地方会2020.11. 札幌

337. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：慢性便秘症に対するポリエチレングリコール製剤の有効性と安全性の検討：第41回日本大腸肛門病学会北海道地方会2020.11. 札幌

338. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄　村上雅則：大腸通過時間検査を用いた慢性便秘症診療の実際：第22回日本神経消化器病学会便秘症診断コンセンサスミーティング2020.11. 札幌

339. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA単独療法の長期成績と再発時の治療：第75回日本大腸肛門病学会総会パネルディスカッション　ALTA療法の功罪2020.11. WEB開催

340. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：便排出障害の診断における専門的検査の臨床的検討：第75回日本大腸肛門病学会総会パネルディスカッション　大腸肛門機能異常の評価と治療2020.11. WEB開催

341. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：全周性の脱肛に対するALTA併用痔核根治術：第75回　日本大腸肛門病学会総会シンポジウム（ビデオ）　全周性に脱出する痔核に対する手術のポイント2020.11. WEB開催

2021年

342. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：便秘症診断における大腸通過時間検査法の臨床的検討：第26回大腸肛門機能障害研究会2021.9. 東京

343. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：慢性便秘症に対するポリエチレングリコール製剤の有効性と安全性の検討：第26回大腸肛門機能障害研究会2021.9. 東京

344. 鉢呂芳一, 安部達也, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：ALTA療法同意書作成時の説明内容について：第14回内痔核治療法研究会2021.9. 東京（リモート発表）

345. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：漏出性便失禁に対するALTAを用いたinjection therapyの検討：第41回日本大腸肛門病学会北海道地方会2020.10. 札幌

346. 安部達也, 鉢呂芳一, 小原啓, 稲垣光裕, 菱山豊平, 國本正雄：直腸脱に対するALTA療法を併用したThiersch手術の検討：第41回日本大腸肛門病学会北海道地方会2020.10. 札幌

旭川エリア事業所 所在地

札幌エリア事業所 所在地

苫小牧エリア事業所 所在地

東京エリア事業所 所在地

室蘭エリア事業所 所在地

医療機関		所在地	TEL	FAX
旭川市	くにもと病院	旭川市4条通5丁目右1号	0166-25-2241	0166-23-1726
	忠和クリニック	旭川市忠和5条6丁目17-8	0166-69-2500	0166-63-2252
江別市	おおあさクリニック	江別市大麻中町2-17　メディカルビルおおあさ	011-388-2233	011-388-2238
札幌市	札幌北14条クリニック	札幌市東区北20条東15丁目4-22	011-748-3161	011-748-3162
介護・看護関連事業		所在地	TEL	FAX
東京都	デイサービスセンター押上	東京都墨田区文花1丁目10-10㈱健康会ケアセンター1階	03-6657-2204	03-6657-2205
	ケアハウス押上	東京都墨田区文花1丁目10-10㈱健康会ケアセンター2階	03-6657-3840	03-6657-3720
	ケアハウス堀船	東京都北区堀船3丁目30-6	03-6908-4930	03-6908-4931
	ケアハウス小竹向原	東京都練馬区小竹町2丁目33-18	03-6909-4131	03-6909-4139
	グループホーム大田蒲田	東京都大田区西蒲田6丁目5-3	03-6424-9266	03-6424-9267
	ケアハウス大田蒲田	東京都大田区西蒲田6丁目5-3	03-6424-7347	03-6424-7348
	ケアハウス練馬豊玉南	東京都練馬区豊玉南3丁目12-6	03-6915-8171	03-6915-8172
札幌市	介護老人保健施設おおぞら	札幌市東区丘珠町167-10	011-786-0020	011-786-2265
	ケアプラン相談センター健康会	札幌市東区丘珠町167-13	011-786-1165	011-780-1167
	健康会訪問看護ステーション札幌東	札幌市東区北２０条東１５丁目４番２２号	011-595-7222	011-595-7340
	健康会ヘルパーステーション札幌東	札幌市東区北２０条東１５丁目４番２２号	011-748-7055	011-792-1062
	ドクター・ナーシングホーム元町	札幌市東区北20条東16丁目2-12	011-792-5135	011-792-5136
	ドクター・ナーシングホーム新道東（予定）	札幌市東区北33条東10丁目	-	-
	メディケアホーム新道東	札幌市東区北30条東20丁目4-10	011-789-8810	011-785-5600
	メディケアホーム川下Ⅰ	札幌市白石区川下2条8丁目1-16	011-879-6120	011-873-5077
	メディケアホーム川下Ⅱ	札幌市白石区川下2条8丁目1-15	011-879-1203	011-875-8033
	メディケアホーム川下Ⅲ	札幌市白石区川下1条8丁目3-15	011-376-1012	011-873-0101
	メディケアホーム川下Ⅳ	札幌市白石区川下1条7丁目1-5	011-595-8160	011-595-8162
	メディケアホーム丘珠	札幌市東区北36条東22丁目3-1	011-768-8962	011-785-3700
	メディケアホーム栄町	札幌市東区北47条東15丁目3-1	011-768-8757	011-704-6633
	メディケアホーム美園	札幌市豊平区美園４条５丁目１番１号	011-824-4383	011-824-4384
	メディケアホーム元町北26条	札幌市東区北26条東22丁目5-1	011-785-5757	011-785-5767
	メディケアホーム元町中央	札幌市東区北26条東19丁目2-10	011-594-8018	011-594-8224
	メディケアホーム厚別中央	札幌市厚別区厚別中央1条1丁目1-2	011-802-6620	011-802-6681
	メディケアホーム元町開成	札幌市東区北21条東22丁目2-12	011-374-7544	011-374-7550
	メディケアホーム伏古	札幌市東区伏古9条2丁目7-14	011-792-0585	011-792-0515
	メディケアホーム環状通東	札幌市東区本町2条1丁目9-7	011-299-3842	011-299-3843
	グループホーム厚別中央	札幌市厚別区厚別中央1条1丁目1-73	011-802-7089	011-802-9067
	グループホーム伏古	札幌市東区伏古9条2丁目7-16	011-790-6390	011-790-6306
	グループホーム八軒中央	札幌市西区八軒7条西1丁目3-46	011-624-7812	011-624-7816

介護・看護関連事業		所在地	TEL	FAX
	グループホーム新道東	札幌市東区北30条東19丁目6-20	011-792-6823	011-792-6824
	グループホーム美園（予定） ※メディケアホーム美園を転換	札幌市豊平区美園4条5丁目1-1	011-824-4383	011-824-4384
	介護付有料老人ホームカルナシア栄町	札幌市東区北46条東18丁目4-15	011-374-6021	011-374-6031
	介護付有料老人ホームカルナシア菊水（予定）	札幌市白石区菊水8条1丁目6-18	-	-
	介護福祉士実務者研修センターあけぼの札幌校	札幌市東区北20条東15丁目4-22	011-768-7230	011-768-7202
旭川市	春光・春光台地域包括支援センター	旭川市春光5条4丁目1-16　北部住民センター	0166-54-1165	0166-54-1101
	ケアプラン相談センターあけぼの	旭川市曙1条7丁目2番1号 國本ビル3階	0166-25-2281	0166-21-5056
	健　鍼灸院	旭川市曙1条7丁目2番1号 國本ビル2階	0166-23-4181	–
	介護施設入居相談所　健	旭川市曙1条7丁目2番1号 國本ビル1階	0120-725-125	–
	ヘルパーステーションあけぼの	旭川市曙1条7丁目2番1号 國本ビル2階	0166-69-2855	0166-61-2155
	あけぼの訪問看護ステーション	旭川市曙1条7丁目2番1号 國本ビル2階	0166-69-2777	0166-69-2650
	訪問看護ステーション忠和	旭川市忠和5条6丁目2-4	0166-63-6060	0166-63-6061
	グループホームあけぼの	旭川市亀吉1条1丁目2-1	0166-21-7010	0166-21-7115
	グループホームあけぼのⅡ	旭川市曙2条6丁目1-1	0166-21-3513	0166-21-3514
	グループホームあけぼのⅢ	旭川市忠和6条6丁目2-24	0166-60-2020	0166-60-2023
	グループホームあけぼのⅣ	旭川市曙3条6丁目1-14	0166-21-3177	0166-21-3127
	メディケアホームあけぼの	旭川市亀吉3条1丁目1-6	0166-29-3500	0166-25-2200
	メディケアホームあけぼのⅡ	旭川市亀吉3条1丁目1-12	0166-29-1331	0166-27-3111
	メディケアホームあけぼのⅢ	旭川市亀吉3条1丁目1-10	0166-73-3077	0166-27-7730
	メディケアホーム曙2条5丁目	旭川市曙2条5丁目2-15	0166-74-6744	0166-26-3550
	メディケアホームちゅうわ	旭川市忠和5条6丁目2-22	0166-60-3515	0166-60-3516
	メディケアホームちゅうわⅡ	旭川市忠和6条6丁目2-1	0166-69-2177	0166-63-5277
	メディケアホーム忠和6条	旭川市忠和6条8丁目1-47	0166-73-7671	0166-61-0566
	デイサービスセンターちゅうわ	旭川市忠和5条6丁目2-24	0166-69-0022	0166-69-0028
	ケアサポートセンターあけぼの	旭川市曙1条6丁目2-15	0166-85-7700	0166-85-7212
	介護福祉士実務者研修センターあけぼの	旭川市曙1条7丁目2-24	0166-76-5590	0166-85-7212
	訪問理美容スマイルarea	旭川市曙1条7丁目2番1号 國本ビル	0166-25-2258	0166-27-3666
東神楽町	グループホームひじり野	上川郡東神楽町ひじり野北1条9丁目1-17	0166-85-6530	0166-83-3211
江別市	ケアプラン相談センターおおあさ	江別市東野幌本町27-6 2階	011-398-6278	011-398-6279
	大麻第一地域包括支援センター	江別市大麻中町2-17　メディカルビルおおあさ	011-388-5100	011-388-5101
	訪問看護ステーションおおあさ	江別市大麻中町2-17　メディカルビルおおあさ 3階	011-387-5067	011-387-5091
	デイケアセンターおおあさ	江別市大麻中町2-17　メディカルビルおおあさ	011-388-2233	011-388-2238
	デイサービスセンター東野幌	江別市東野幌本町27-6	011-391-0080	011-391-0081
	ヘルパーステーションおおあさ	江別市大麻中町26　大麻ステーションビル 2階	011-388-7515	011-388-7516
	グループホームえべつ	江別市大麻桜木町26-5	011-802-5097	011-802-5098
	グループホーム若葉	江別市野幌若葉町86-1	011-388-5111	011-387-1511

介護・看護関連事業		所在地	TEL	FAX
苫小牧	ケアプラン相談センターしらかば	苫小牧市しらかば町2丁目1-23　苫小牧糸井駅前オフィス F室	0144-84-5264	0144-84-5279
	ヘルパーステーションしらかば	苫小牧市しらかば町2丁目1-23　苫小牧糸井駅前オフィス A室	0144-84-5261	0144-84-5269
	訪問看護ステーションしらかば	苫小牧市しらかば町2丁目1-23　苫小牧糸井駅前オフィス F室	0144-84-5262	0144-84-5279
	訪問看護ステーションしらかば東営業所	苫小牧市三光町2丁目15-2　クリスタルハーモニーN03 101号	ー	0144-34-8866
	療養通所介護センターしらかば	苫小牧市ときわ町3丁目4-1	0144-67-3681	0144-61-6007
	グループホームしらかば	苫小牧市ときわ町3丁目4-1	0144-67-5401	0144-67-5402
	グループホーム柏木	苫小牧市柏木町5丁目1-20	0144-71-5500	0144-72-2800
	グループホーム澄川	苫小牧市澄川町3丁目2-5	0144-82-7696	0144-82-7697
	グループホーム豊川（予定）	苫小牧市豊川町4丁目7-18	-	-
	介護福祉士実務者研修センターあけぼの苫小牧校	苫小牧市しらかば町2丁目1-24　苫小牧糸井駅前オフィス A室	0144-84-5265	0144-84-5269
室蘭市	グループホーム輪西	室蘭市みゆき町1丁目7-9	0143-84-1668	0143-43-4333

2022年5月現在

グループ法人	所在地	TEL	FAX
医療法人健康会	旭川市曙1条7丁目2-1	0166-25-2241	0166-23-1726
医療法人社団元気会	旭川市忠和5条6丁目17-8	0166-69-2500	0166-63-2252
医療法人社団曙	札幌市東区北20条東15丁目4-22	011-748-3161	011-748-3162
株式会社健康会	札幌市中央区北5条西6丁目2-2 札幌センタービル 3 階	011-768-7230	011-768-7202
株式会社健	旭川市曙1条7丁目2-1	0120-725-125	ー

くにもとメディカルグループでは、医師・薬剤師・看護師・PT・OT介護職員・ケアマネジャー・総合職（幹部職員）を随時募集しています。

北海道内外各地のさまざまなフィールドでご活躍いただけます。
学術活動や子育てなど、ライフスタイルに合わせてご勤務いただくことが可能です。
研修プログラムも充実しており、ご希望により開業支援もいたします。

詳しくは、下記までお気軽にお問い合わせください。

募集科目（医師）	：	肛門外科、内科、外科 家庭医、在宅医、その他
採用条件	：	当法人規定による（委細面談）
お問い合わせ	：	070-0061　旭川市曙1条7丁目2番1号　國本ビル 理事長室　廣田 幸二 **TEL：0166-25-2258** Email：hirota@kunimoto-hp.com

発行人：國本正雄
発行所：理事長室

〒070-0061
北海道旭川市曙1条7丁目2番1号 國本ビル
TEL：0166-25-2258　FAX：0166-27-3666
HP：http://kunimoto-hp.com
http://kenkohkai.jp
E-mail:kunimoto@hokkai.or.jp
2022年5月　第1刷発行

くにもとメディカルグループ

KUNIMOTO
MEDICAL
GROUP

【くにもと病院】
〒070-0034　旭川市4条通5丁目右1号
TEL:0166-25-2241　FAX:0166-23-1726

【札幌本部】
〒060-0005　札幌市中央区北5条西6丁目2番2号 札幌センタービル3階
TEL:011-768-7230　FAX:011-768-7202

【旭川本部】
〒070-0061　旭川市曙1条7丁目2番1号　國本ビル
TEL:0166-25-2258　FAX:0166-27-3666

【東京支社】
〒105-0013　東京都港区浜松町1丁目21番5号 SATSUTAビル6階
TEL:03-6435-9027　FAX:03-6435-9028

【苫小牧支社】
〒053-0821　苫小牧市しらかば町2丁目1番23号
TEL:0144-84-5265　FAX:0144-84-5269